

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

栄町教育委員会の点検・評価報告書

(令和3年度対象)



栄町教育委員会

令和4年11月

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。また、第2項では点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされています。栄町教育委員会では法の趣旨に則し、課題や方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進のため、学識経験者からの意見を受け報告書にまとめ、町議会に提出するとともに、それを公表し説明責任を果たすものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

栄町教育委員会委員名簿

職 名	氏 名
教 育 長	藤 ケ 崎 功
教育長職務代理者	中 島 宣 行
委 員	大 久 保 雅 従
委 員	石 川 京 子
委 員	濱 田 香 奈

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催しています。また、教育委員会の所管事項について調査研究等を要するものがある場合に、「委員協議会」を開催する他、教育委員会各課と議題に係る情報共有を図るため「勉強会」を開催しています。

・教育委員会会議 定例会12回 臨時会1回 委員協議会2回 勉強会7回

「栄町教育委員会行政組織規則」第7条に基づき、次のとおり審議を行いました。また、定例会・臨時会において委員報告や各所管課等の行事等報告を行いました。

(1) 審議内容一覧

内 容	件 数
教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
教育委員会規則その他教育委員会の定める規程を制定し、又は改廃すること	9
予算その他議会の議決を要する議案について町長に意見を申し出ること	7
教育機関の施設の整備計画を定めること	2
県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申に関すること	1
附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	10
教育功労者を表彰すること	1
教科書その他の教材の取扱いの方針を定めること	1
教科用図書の採択に関すること	3
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	1
県費負担教職員の人事異動方針を定めること	1
重要又は異例に属する事項	7

(2) 議決事項一覧

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関委員の委嘱について（3件） ・令和4年度使用教科用図書取扱方針（案）について ・栄町教育支援センター実施要項の一部改正について ・令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・令和3年度教科用図書印旛地区採択地区協議会委員について ・令和3年度教科用図書印旛地区採択地区協議会専門調査員会調査員の候補者の推薦について
5月（臨時会）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町給食費負担金免除申請の認定について
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町立学校における働き方改革推進プランの改定について ・栄町教育支援委員会委員の委嘱について ・令和3年度栄町一般会計教育費補正予算第1号について
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町学校薬剤師の解嘱及び委嘱について
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関委員の委嘱について（2件） ・令和4年度使用教科用図書の採択について ・独立行政法人日本スポーツ振興センター法に規定する災害共済給付に係る共済掛金及び免責の特約に関する要綱について
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度栄町一般会計教育費補正予算第4号について
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項なし
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末及び令和4年度栄町立学校職員人事異動方針（案）について
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町使用料条例の一部を改正する条例について ・栄町教育委員会の点検・評価報告書（案）について ・令和3年度栄町一般会計教育費補正予算第7号について ・令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項なし
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度栄町一般会計教育費補正予算第10号について
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町教育委員会規則で定める申請書等に係る押印及び署名の特例に関する規則について ・栄町教育委員会訓令で定める申請書等に係る押印及び署名の特例に関する訓令について ・栄町教育委員会告示で定める申請書等に係る押印及び署名の特例に関する要綱について ・令和3年度栄町一般会計教育費補正予算第11号について ・令和4年度栄町一般会計教育費当初予算について ・令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町教育委員会の教育機関に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について ・栄町学校給食センターの管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・給食費負担金徴収事務取扱要綱の一部改正について・令和4年度栄町学校教育プラン（案）について・ふれあいプラザさかえ個別施設計画の改定について・スポーツ施設個別施設計画の策定について・附属機関委員の委嘱について（3件）・認定文化財ガイドの認定について・令和4年度栄町社会教育関係団体の認定について・教育功労者の感謝状について・令和3年度末教職員人事異動について・令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について |
|--|

目 次

- 1 点検・評価の対象 P 1
- 2 点検・評価の方法 P 1
- 3 点検・評価の結果 P 1
- 4 点検・評価（施策評価シート） P 2

令和3年度栄町教育方針

基本方針（Ⅰ）

子どもたちが良好な環境で学習できる施設整備を推進します。 . P 2

○学識経験者の意見 P 6

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . P 8

基本方針（Ⅱ）

みんなが一体となって栄っこを育成する教育を推進します。 . . . P 1 0

○学識経験者の意見 P 1 9

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . P 2 1

基本方針（Ⅲ）

生きがいがある学習やスポーツ環境づくりを推進します。 . . P 2 2

○学識経験者の意見 P 2 8

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . P 3 0

基本方針（Ⅳ）

地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図ります。

. P 3 2

○学識経験者の意見 P 3 7

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . P 3 8

- 5 本町教育行政が取組む方向について P 3 9

1 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「栄町教育方針」を実現するため、令和3年度の重点的な取組として実施した、「教育施設の充実」「給食施設の充実」「教育のICT化の推進」「特色ある学校づくりの支援」「きめ細かな学校教育の推進」「学力向上の推進」「教育行政の推進」「生涯学習機会の充実」「生涯学習施設の充実」「スポーツ環境づくりの推進」「芸術文化活動の支援」「文化財等の保護と活用」の12の施策について点検・評価しました。

2 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、教育委員会事務局で作成した「施策評価シート」により自己評価を実施しました。

評価は、施策全体の取組状況（達成度）について

}	目標を達成	★★★
	目標をほぼ達成	★★
	目標に達成していない	★
	現時点で判定できない	—

の4段階で実績・成果・課題を記述し、評価する方法で行いました。

なお、客観性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する方に取組状況を説明し、基本方針ごとの自己評価に対する学識経験者からの意見をいただきました。ご意見をいただいた方々は、次のとおりです。

(敬称略)

氏名 中澤 一夫 (団体役員)

氏名 弘海 千鶴 (元栄町教育委員)

3 点検・評価の結果

施策評価シートにより、点検評価を実施しています。

《目標に対する達成状況 12施策の結果》

目標を達成 ★★★・・・6施策

目標をほぼ達成 ★★・・・3施策

目標に達成していない ★・・・0施策

現時点で判定できない —・・・3施策

4 点検・評価（施策評価シート）

基本方針（I） 子どもたちが良好な環境で学習できる施設整備を推進します。

安全で安心な教育環境を確保するために教育施設等の修繕や改修等の整備を推進していきます。また、情報教育時代にあったICT設備の設置等ICT環境の整備を推進していきます。

【施策名】

- ・教育施設の充実 P 3
 - ・給食施設の充実 P 4
 - ・教育のICT化の推進 P 5
-
- 学識経験者の意見 P 6
 - 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について P 8



施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		教育施設の充実					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> 学校は、次代を担う子どもたちの教育を行う場であるとともに、地域住民にとっては地域コミュニティ育成の場として、また、災害時には避難所としての役割を持つ施設であることから社会情勢に対応した整備が求められている。 本町の学校校舎は、建築後30年以上が経過しており、老朽化が進んでいるため学校施設を利用する児童生徒等がこれからも安全安心に利用できる施設として提供できるよう継続的な維持管理が必要である。 また、計画的な学校施設の修繕や長寿命化に向けた予防改修を行うための事業費が高額なため財源措置が課題となっている。 					
施策の情報整理	目指す成果	安全安心な学習環境を確保するため、各学校の必要な施設等の修繕や改修工事等が計画的に行われている。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
		改修工事着工件数	1件	目標値 1件 実績値 2件	目標値 1件 実績値 1件	目標値 0件 —	
	施策全体の達成度(★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		47,220 千円 44,394 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> 栄町教育振興基本計画における目標として、平成31年度～令和4年度の期間に、学校施設の大規模改修工事着工件数を3件(安食台小学校屋外運動場整備工事(令和元年度)、布鎌小学校大規模改修工事(令和2年度)、竜角寺台小学校大規模改修工事(令和3年度))設定した。令和3年度は、令和2年度に国の交付金が採択され、令和2年度中の実施が間に合わないことから、令和3年度に繰越した布鎌小学校校舎大規模改修工事を完了した。 もともと2～3年度実施(布鎌小)を2年度に、3～4年度実施(竜角小)を3年度に件数を入れていたことから「目標を達成」と判断した。 					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> 安食小体育館照明修繕工事、栄中学校体育館設備修繕工事等を実施するなど児童生徒等が安全安心に学校生活が送れるよう教育環境の確保に努めた。 施設の維持管理のため、改修費用等の財源措置が課題となっている。トータルコストの縮減・予算の平準化を実現しながら、改修工事を計画的に実施していく予定である。 					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	学校施設は、子どもたちの教育を行う場所だけでなく、地域コミュニティ育成の場や災害時の避難場所としても利用されている。これからの学校施設に求められる機能を整備する必要がある。					
住民との協働や他課の事業との連携	総務課(災害時の避難場所となっていることから、災害時等にも対応できる施設の整備を推進)						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 学校施設大規模改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ○布鎌小学校大規模改修工事を令和3年2月に着工し令和3年度に繰越しを行い、同年8月に工事を完了した。 ・布鎌小学校校舎工事監理委託 1,980千円 ・布鎌小学校大規模改修工事 33,860千円 ○令和4年度に改修工事予定である校舎屋上防水等工事についての実施設計委託を行った。 ・竜角寺台小学校校舎工事設計委託 3,190千円 	【取組への課題】 ・学校施設大規模改修工事には、多額の費用が伴い、国の補助採択が必要である。そのため、補助採択の状況により事業実施が左右されてしまうことから、安定的な財源の確保が焦点となる。	R元 決算	0
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・「学校施設の個別施設計画」を基に、学校施設の実情を踏まえ、安全安心のための施設整備を計画的に実施できるよう、引き続き予算要望を行っていく。	R2 決算	73,830
			R3 予算	39,140
			R3 決算	39,030
② 学校施設修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒等の安全安心な学習環境を確保するため施設の老朽化部分の改善を図った。 【主な工事内容】 ・安食小学校体育館照明修繕工事 776千円 ・栄中学校体育館設備修繕工事 1,119千円 ・消防設備修繕工事 713千円 ・トイレ修繕工事 310千円 	【取組への課題】 ・大規模改修工事を計画的に実施してきたものの、建築後30年以上経過している学校施設が多く、設備の不具合が相当数発生している。今後も老朽箇所の修繕や小学校プールの撤去等すべてに対応できるだけの予算措置が課題である。	R元 決算	10,727
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・修繕等が必要とされるすべての部分について、予算措置により対応していくことは難しい状況である。優先箇所を見極めながら計画的に修繕事業を実施していく。	R2 決算	9,848
			R3 予算	8,080
			R3 決算	5,364
合計			R元 決算	10,727
			R2 決算	83,678
			R3 予算	47,220
			R3 決算	44,394

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		給食施設の充実					
現状と課題		給食センター施設内における配管設備及び調理機器に対する修繕箇所が、年々増加傾向にある。施設機能の低下による給食の安定供給を損なうことのないよう適切な維持管理に努めていく必要がある。					
施策の情報整理	目指す成果	将来にわたって安全安心な学校給食を児童生徒に提供できるよう、老朽化が著しい既存の給食センターの建替え計画が進んでいるとともに、その間必要な修繕が行われている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		給食施設における修繕及び改修件数	0件	目標値 2件 実績値 2件	目標値 1件 実績値 1件	目標値 2件 (うち改修1件) —	既存施設の各年度の修繕及び改修件数
	施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		44,786 千円 20,331 千円	
	達成度の理由	施設が老朽化し、建替えを予定していることから、必要最低限の修繕の目標値とし、目標値と同様の修繕を実施したことから「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	学校給食センターの現状と課題を整理し、新たな給食センターについての基本的な考え方・建設方針、建設計画、スケジュール等、整備に必要な「学校給食センター施設整備計画」を策定した。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	コロナウイルス感染、食物アレルギーへの対応、給食への異物混入等、様々な課題への対応が求められている。給食食材等納入業者や配送業者、各校の職員と連携をし、引き続き安全安心な給食提供のために最善を尽くす。					
住民との協働や他課の事業との連携	栄町学校給食センター運営協議会・建替えに伴う庁内関係課(総務課、企画政策課、財政課、建設課、下水道課、長門川水道企業団、まちづくり課)						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 学校給食センター修繕事業	○給食センター機能の維持管理を図るため必要な修繕を実施した。 【修繕内容】 ・食器食缶厨房機器修繕 【 270千円】 ・その他厨機器修繕 【 1,021千円】 ・ポイラー関係修繕 【 1,231千円】 ・施設設備修繕 【 363千円】	【取組への課題】 ・老朽化による給食センター施設及び設備等が経年劣化により、年々修繕箇所が増加傾向にあるが、給食センターの建替え計画が進められていることから、安全安心な給食の提供を行うための有効的な施設等の維持管理が課題である。	R元 決算	3,435
			R2 決算	2,829
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・給食センター施設の法定点検、保守点検、日常点検等を実施し、機能の維持に必要な個所の修繕等を行う。	R3 予算	3,030
			R3 決算	2,885
② 学校給食センター建替え事業	○給食センターの建替えに係る基本的な業務を実施した。 ・ふれあいプラザさかえ駐車場整備工事 (令和2年度繰越予算)【12,056千円】 ・地質調査委託 【5,390千円】	【取組への課題】 ・令和2年度からの給食センター建替えにおける建設スケジュールにあわせた課題は以下のとおり。 1. 施設の規模、配置、厨房機器の選定、周辺インフラ整備等 2. 財源確保の問題	R元 決算	29
			R2 決算	29,796
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・「学校給食センター施設整備計画」を踏まえ、給食センター用地の地質調査(令和3年度)及び実施設計(令和4年度)を行うなど計画的に建設を進めていく。 ・各関係機関及び施設設備機器の検討を行う。	R3 予算	41,756
			R3 決算	17,446
合 計			R元 決算	3,464
			R2 決算	32,625
			R3 予算	44,786
			R3 決算	20,331

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名	教育のICT化の推進						
現状と課題	町の人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少が予測される中、学校運営や教育活動など子どもたちへの教育の影響の大きさが懸念される。児童生徒及び教職員がよりよい環境で学習することができ、安心して学校生活を送れるようにするための学習環境の整備が必要である。 教育のICT化についても、教職員の働き方改革や国のGIGAスクール構想などから、教職員の校務支援及び児童生徒の学習環境の整備として、ICT環境の充実を図っていく必要がある。						
施策の情報整理	目指す成果	情報教育の時代にあったICT化に向け、施設や機器などICT環境の充実が図られている。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
		タブレットを使った授業数	0 授業数	目標値 150授業数 実績値 0	目標値 150授業数 実績値 2,412	目標値 250授業数 —	
	施策全体の達成度(★★★)	★★★	目標を達成(100%) 目標をほぼ達成(80%以上) 目標を達成していない 現時点では判定できない	★★★ ★★ ★ —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		194,184 千円 178,610 千円
	達成度の理由	令和2年度1月より一人一台タブレットの導入をした。ICT支援員による各校への支援や、町ICT支援職員・指導主事による支援や研修会の実施により、学校でのICTの活用が日常的なものとなり、多くの授業で活用が見られた。また、欠席した児童や学級閉鎖などの場合にはオンラインで授業を実施するなど活用も多岐にわたった。これらのことから「目標を十分達成した」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	各校でも効果的に活用することができるようになった。各校の状況を確認すると、ドリル的な学習やインターネットを活用した調べ学習など様々な学習場面で活用していることが分かった。しかし、授業者の技能によって、活用状況には差があることもわかった。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	校務支援パソコンの導入や児童生徒のタブレットを活用した取組を、保護者へ周知するとともに、災害や感染症による臨時休業等が実施された場合において、家庭と連携をした、家庭学習等の取組を行うことが予想される。					
	住民との協働や他課の事業との連携	教育総務課(施設・備品管理) 財政課(校務用パソコン及びGIGAスクール構想に基づく児童生徒へのタブレット維持に係る予算措置)					

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① ICT教育環境整備事業	<p>○各小中学校にLAN通信機器を整備された、教室内Wi-Fiアクセスポイントを活用し、体育館・グラウンドを含めたどの教室でもICTの活用がみられた。</p> <p>○国のGIGAスクール構想に基づき、町内全小中学生に一人一台タブレットを整備するとともに、家庭でも活用できるようにした。</p> <p>○MEXCBTを周知し、先行実施する学校について募集した。</p>	【取組への課題】 ・国のGIGAスクール構想に基づく、1人1台タブレット導入やオンライン授業システムの構築後の具体的な運用及び各校における効果的な活用を推進する。	R元 決算	0
			R2 決算	0
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・一人一台タブレットを授業で効果的に活用することができるための研修会を開催する。 ・ICT環境整備に係る契約をした内田洋行との綿密な打ち合わせ、教育委員会内の連携及び情報共有、不具合・トラブル等への対応を行う。 ・家庭への持ち帰りタブレットの効果的活用と保険対応。	R3 予算	194,184
			R3 決算	178,610
合計			R元 決算	0
			R2 決算	0
			R3 予算	194,184
			R3 決算	178,610

学識経験者の意見（基本方針（I）について）

【施策名：教育施設の充実】

・評価は妥当だと思います。各学校の施設も年数が経ってだいぶ傷んでいるところが見受けられます。

・竜角寺台小学校の大規模改修工事が予定されているということで、その辺も解消されるのかなという気がいたします。外壁の修理もしていくと思いますが、学校ですと災害時の避難所などにも指定されておりますので、その被災した時の避難者に対する準備といえますか、そういうものも必要なのかなと思います。

・情報整備の中で外部環境の変化や住民ニーズの変化などの項目で、地域コミュニティの育成の場とありますけども、その辺で地域の住民への学校施設の貸出しといえますか、空いているところを使わせてもらうようなことも可能なかどうかというものも一つあります。高齢者などの子供たちの見守りも兼ねて、学校を開放していただけたらいいのかなという気がいたします。

財政が厳しい中で、子供たちの為に安全に対して今後も力を入れていただきたいなと思います。

・毎年取り組みの課題になっている「プールの撤去」ですが、これはかなりのお金がかかるのでなかなか進まないのわかりますが、プールの近くにあまりに物が散乱し過ぎていたので、そのまま放置でよいのかなと思います。衛生的にも、子供たちの為にもこのまま放置でよいのかなと思うくらい、いらぬものがいっぱいあるので、あれだけでも片付けるとだいぶ違うのかなと正直思います。もし学校の先生だけでなく町の方からもボランティアか何かを集めてプールの周りを少し綺麗にするだけでも、しばらく放置していても大丈夫という環境になったらよいと思いました。

【施策名：給食施設の充実】

・給食に関しましては、これまで事故もなく子供たちにきちんと届けられているということで、評価は妥当だと思います。子供たちに提供する給食なので、どこかの市で青くなった毒性のあるじゃがいもを提供して集団中毒を起こしたという事例もありますので、その辺栄町ではないということは、栄町では十分気を付けて提供されているのかなと思います。安心して食べられる給食をきちんと届けていただいているということで、ありがたいことだと思います。

・アレルギーの子が結構いるのですが、アレルギーに対する対応が給食センターの現状で間に合っているのかなと思いました。新しく建て直した時に、アレルギーのための部屋を作るという話もあったり、小分けはしないって話を聞いていたので、今本当に小麦がだめだったり、蕎麦がだめだったりいろんなものがだめというのがあったので、ざっくりした分け方で大丈夫なのかなと不安に思いながら、どうなのかなと感じたところです。

【施策名：教育のICT化の推進】

・国の方でGIGAスクール構想で1年遅れたというような話がありましたけども、今年度になりまして環境が整ったということで大変よかったと思います。また、体調不良で欠席した場

合なども、オンラインで授業を受けられるというようなことで、その辺は大変いい時代になったのかなという気がいたします。ただ、端末の数がかなり多いと思うんですが、その場合故障っていうのはかなり出ているんでしょうか。それともほとんどないという感じでしょうか。

・機械ですから故障はやむを得ないところがありますけれども、思ったほどの台数ではないということで安心しました。これを教える先生側の方も知識とか技術、これを高めていかないと、というところで大変だと思いますけれども、その技術とかを向上させるための勉強会などもかなりやられているのでしょうか。

・卒業式に参加できなかった担任の先生がいて、オンラインで卒業式に出たという話を聞いて、上手にタブレットを使って参加できていて、先生方の努力によって活性化できていてよかったなど、この達成度で問題ないと思っております。

学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

教育総務課より

【施策名：教育施設の充実】

・竜角寺台小学校ですが、今年度、大規模改修工事を行っております。校舎へあがる階段手前の擁壁がかなり朽ちているところがありますが、これも改修工事の中に入れております。あと、校舎の外壁につきましては、全面は行えませんが、亀裂が入っている危険箇所などは、業者の方をお願いしているところでございます。

・災害時の避難所の関係は、避難所の担当職員を張り付けて、竜角寺台小学校の避難所を開設するにあたりましては、その担当職員と役場の安全対策推進室との協力のもと、開設するような手配となっております。

学校開放の関係は、体育館等の開放もしている関係で災害等の時には、もし体育館で収まらない場合は校舎の開放も考えているところでございます。

また、体育館への気化式冷風機、それと給食用の配膳室に気化式冷風機ということで、かなり高額になりますが、議会の承認を得られましたので、体育館には各学校2台ずつ入れさせていただきました。これで夏場の体育の授業であるとか、あるいは災害時の避難所になった場合の空気の循環であるとか、そういった面ではかなり有効な気化式冷風機を入れることができましたので、令和4年度の時には、それらの修繕事業のところに上がってくると思われませんが、その辺の対応はやってきたところでございます。

・プールの撤去についてですが、更衣室とポンプ室の建屋がどうしても危険に思われているというのは事実でございます。それで我々も、まずプールの撤去が何箇所かありますが、率先して安食小学校だけは先にやろうと考えています。

学校教育課より

【施策名：給食施設の充実】

・アレルギーの関係ですが、現在は除去だとか代替食とかいう取り組みはしていません。アレルギー対応については、アレルギーのあるお子さんの保護者に、詳細な献立表をお配りして、だめな時は「これはだめです。」ということで、必要に応じてお家から代替になるものを持ってきていただく、というような取り組みをしているところです。

【施策名：教育のICT化の推進】

・現在までは、この2年の中で15件ほどと聞いています。大きいものはあまりなく、機械本体が使えなくなるようなものは、現在のところはありません。大切に使うはいただいているところだと考えます。もちろんタブレットを落としてしまうというお子さんもいらっしゃるというのも事実であり、画面が少し不具合が出るとか、そういうことはありますが、現状は導入業者さんと対応して修繕しながら取り組んでいるところです。

費用は結構かかるのですが、数が多くないので、現状は対応できているというところです。ただ、今後年数が経過していくうちに、様々な経年劣化が考えられますので、今後、そういったところが課題となります。全国的にもニュースになっていきましたが、大きな課題になってい

くと思いますので、これからまた、保険の在り方や保証への対応などについて検討していくよう考えています。

・町全体で行う情報の研修会は年に3回程度ですが、各校から現状については逐一挙げていただいて、各校で「こういうようなことをやっています。」という内容については、他の学校に情報提供し、共有しているところです。今現在はICT支援員を内田洋行から2名派遣していただいております、その2名が5校をまわっていただき、先生方の使い方のフォローをしていただくというようなことになっています。今後、いらっしゃれなくなる時が来るわけですので、その時に向けてより効果的な使い方について、蓄積していただくようお願いしているところです。

基本方針（Ⅱ） みんなが一体となって栄っこを育成する教育を推進します。

創意と活力のある教育活動の中で、基礎・基本の習得及び思考力・判断力・表現力の育成、並びに望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育を充実させ、個性を活かすきめ細やかな学校教育を推進します。

【施 策 名】

- ・ 特色ある学校づくりの支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 1
 - ・ きめ細かな学校教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 3
 - ・ 学力向上の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 5
 - ・ 教育行政の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 7
-
- 学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 9
 - 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について・・・・ P 2 1



施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		特色ある学校づくりの支援					
現状と課題		国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題への関心などが高まり、また、町では、人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少が予測される。そのような状況の中、たくましく生きていく人材を育てるためには、豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの個性を生かし、その能力を十分に伸ばすことが必要になってくる。そのためには、学校の教育活動全体を、児童生徒の個性を生かせるような創造的で柔軟なものにしていく必要がある。町では、令和2年度中に、働き方改革の一助として、教職員用校務支援システムを導入するとともに、児童生徒に、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレットを整備した。これらを活用しながら、各学校が児童生徒や地域の実態を十分に踏まえ、また、学校と地域が一体となり、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することにより、一人ひとりの個性を生かした生きる力を育む教育が可能になる。					
目指す成果		望ましい学校教育のために、保護者や地域住民が学校運営に参加することにより、各小中学校の特色ある学校づくりが推進されている。また、教員の働き方改革を進めることによって、教員が児童生徒一人ひとりへ対応する時間が増え、教員の児童生徒への指導力の維持向上が図られている。学校・保護者・地域が一体となり、多くの目で児童生徒を見守り、支援することにより、児童生徒が生き生きと学習に取り組むことができ、将来に対するビジョンを持つことができていく。					
施策の情報整理	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値 (教育振興基本計画)の説明
		児童生徒へのアンケート	小 85%	目標値 90%	目標値 90%	目標値 90%	学校生活アンケートによる「将来に対するビジョンを持つことができていく」児童生徒の割合
				実績値 73%	実績値 69%	—	
		学校評議員へのアンケート	—	目標値 82%	目標値 85%	目標値 90%	
実績値 72%	実績値 72%			—			
学校評議員へのアンケート	—	目標値 70%	目標値 80%	目標値 90%	—		
学校評議員へのアンケート	—	実績値 83%	実績値 100%	—	—	—	
施策全体の達成度 (★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)			49,596 千円	
達成度の理由	令和3年度は、令和2年度中のような新型コロナウイルス感染症の拡大防止による町内全小中学校を対象とした臨時休業は行わなかったものの、新型コロナウイルスの収束は見えず、児童生徒は不安を感じながらの生活になった。学校は、「新しい生活様式」のもと、感染症対応に留意しながらの学校教育活動の展開となった。その中で、工夫した教育活動の展開や教育相談活動など、効果的な学習指導や心のケアに全力で取り組んできた。学校・保護者・地域も一体となり、児童生徒の支援を行っている。また、学校は学校評議員等を通じて、地域住民の意向を反映した開かれた学校づくりを実践できており、これらにより「目標をほぼ達成」と判断した。						
設定成果指標 以外に現れた 成果の説明	教職員用校務支援システムを導入し、諸表簿の一元管理、各種記録等の情報共有、文書の配付、提出などに成果を上げているところである。今後、さらなる支援を行い、教職員の働き方改革に一層寄与するため個々が活用できるようにしていく必要がある。また、教員アシスタント職員をより一層効果的に活用することにより、教員の事務負担を軽減し、より充実した学習指導が行えるよう支援していく必要がある。						
外部環境の変化や 住民ニーズの変化など、 今後、課題と対応が予 測されるもの	・各地域におけるふれあい推進員を含めたPTA組織・地域の活動力の維持 ・学校運営協議会制度(コミュニティスクール)の導入について ・部活動の地域移行に係る地域との連携						
住民との協働や他課の 事業との連携	・地域学校協働本部及びふれあい推進員等による放課後ふれあい教室等、学校と地域が一体となり、地域ぐるみで子供を育む体制が確立している。 ・通学路の危険箇所の確認を建設課、印旛土木事務所、警察署、地域ボランティア、各学校教員と共同して行った。						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① スクールバス運行事業	○統合により遠距離の通学となった児童生徒が安全に通学できるよう、スクールバスの運行継続。 ・小中学校共に登下校時2便の運行 安食台小学校 旧北辺田小学校区:マイクロ 旧酒直小学校区:中型 栄中学校 旧竜角寺台小学校区:大型 マイクロ 旧酒直小学校区:中型 ○運行委託(栄町シルバー人材センター) ・スクールバス運行回数 通常運行 163日 休日運行 80日 校外学習 18日 プール送迎 なし 布鎌小送り 108日 他課利用 なし ○借上バス マイクロ1台 中型4台 大型5台 ○通学路点検(10月・2月の年間2回実施)	【取組への課題】 ・スクールバスの安全運行を確保する。 ・委託先(シルバー人材センター)の運転手の高齢化への対応。 ・運行計画表の変更に伴う、学校・教育委員会・委託業者との連絡調整の徹底を図る。	R元 決算	17,398
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・シルバー人材センターの高齢化への対応として、委託先を変更し、一般の業者へと変更を行う。 ・スクールバスの安全運行については、教育委員会、学校、新たな委託業者との連絡調整を密にし、運行時間の調整、運行ルートの精査等を実施し、適正かつ安全な運行を行っていく。 ・通学路の安全を確保するため、バス運行の視点も加味した通学路点検を実施し、危険箇所の確認を行い安全対策を講じていく。	R2 決算	9,188
		【取組への課題】 ・教員のアシスタントとなるため、教員の勤務時間と同様となるよう、教員アシスタント職員の勤務時間の調整が必要である。	R3 予算	14,152
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・6時間勤務から7時間45分勤務などに時間を延長できるよう町財政課へ要望するとともに、1日6時間の勤務時間の範囲内で、各学校に応じた対応ができるよう学校と調整する。	R3 決算	10,531
② 教員アシスタント職員活用事業	○教員の長時間勤務環境を是正し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、教員アシスタント職員を全校に1名配置した。	【取組への課題】 ・教員のアシスタントとなるため、教員の勤務時間と同様となるよう、教員アシスタント職員の勤務時間の調整が必要である。	R元 決算	7,342
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・6時間勤務から7時間45分勤務などに時間を延長できるよう町財政課へ要望するとともに、1日6時間の勤務時間の範囲内で、各学校に応じた対応ができるよう学校と調整する。	R2 決算	5,184
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・6時間勤務から7時間45分勤務などに時間を延長できるよう町財政課へ要望するとともに、1日6時間の勤務時間の範囲内で、各学校に応じた対応ができるよう学校と調整する。	R3 予算	8,530
			R3 決算	8,002

③ 校務支援ICT活用事業	<p>○教職員の校務作業の負担を減らし、子供と向き合う時間を確保するため、コンピュータを使った校務支援の活用が始まった 全129台 県費負担教職員用 113台 学校支援職員用 16台</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2に導入した校務支援システムの活用にあたり、教職員の負担軽減や児童生徒の学力向上につなげられるかが課題である。 ・「校務支援ICT活用事業」「GIGAスクールネットワーク整備事業」として、教職員一人ひとりへ新たな校務支援システムを導入したPCや各教室用及び児童生徒一人一台授業用タブレットを導入した。今後導入したものを効果的に活用し、教職員の負担軽減や児童生徒の学力向上につなげられるかが課題である。 	R元 決算	0	
				R2 決算	16,806
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援ICTの導入により、教職員の校務作業の負担を減らせるよう積極的に活用する中で、子供と向き合う時間を確保するため、コンピュータを使った校務支援処理が実施できるようにしていく。 ・授業用タブレットを積極的かつ効果的に活用し、児童生徒の学力を向上できるようにするための、教職員対象研修会を各校にて実施するとともに、情報主任研修会を通して校内のタブレット活用スキルの向上に向けた情報を共有する。 ・内田洋行のICT支援員を配置するとともに、町内支援員を配置し、PCの積極的活用を支援する体制を構築する。 	R3 予算	19,034
				R3 決算	19,034
④ 地域人材等の活用事業	<p>○学校評議員設置業務 ・学校評議員を各校に配置をした (1校あたり5名以内) ○地域住民による学校支援推進業務 ・地域住民による教育活動の充実のための学校支援(ゲストティーチャーなど)の推進をした。 ○教育振興支援事業 ・学校教育振興会へ補助金を交付し、学校活動の支援をした。 ○学校安全指導業務 ・新1年生を迎えた1学期に各小中学校で、交通安全教室及び防犯教室を開催した。 ○学校運営の支援業務 ・小学校に学校用務員(会計年度任用職員)の配置をした。</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全指導業務を通じて交通安全指導を行っているが、千葉県内では小中学生の交通事故や犯罪に巻き込まれる事例が発生しているため、指導を工夫していく必要がある。 ・コロナ禍の中、ゲストティーチャーによる地域の特性を活かした体験学習等が減ってしまったため、コロナ禍で地域のゲストティーチャーによる学習ができるよう新たな取り組みを検討する。安食小では、文部科学省の「学校図書館活性化調査事業」により、図書ボランティアの方々の協力による図書室支援を行うなど、今後に向けた方向性を示すことができた。 	R元 決算	7,249	
				R2 決算	7,577
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映し、開かれた学校運営に努めていく。 ・ICTを活用しコロナ禍でも地域のゲストティーチャーと連携した新たな取り組みができるか検討していく。また、各校で依頼しているゲストティーチャーの情報や生涯学習課と人材情報の共有により、各校の様々な活動について支援する。 ・不審者事案にあつたときは、躊躇なく警察に連絡するように周知するとともに、警察・交番・駐在所・防犯パトロール・地域防犯グループなどに、巡回を依頼する。また、「栄町ながら見守り隊」を立ち上げ、地域での防犯体制の強化を図る。 ・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態についてより具体的に児童生徒に伝える。 	R3 予算	7,880
				R3 決算	7,086
⑤ 栄っこ宣言の推進	<p>○「栄っこ宣言」にある、5つの行動規範を心の糧として夢に向かってがんばり、ふるさと「栄町」を愛する心を育てていくため、学校行事や集会活動の際に啓発をした。</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内にある幼稚園、保育園、栄特別支援学校、小中学校の連携を視野に入れた取組を推進していく必要がある。 	R元 決算	0	
				R2 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内幼稚園・保育園、栄特別支援学校へ「栄っこ宣言」の掲示物を配付し、各園、学校での周知を依頼することにより、「栄っこ宣言」の行動化に向けた一層の推進を図る。 ・各小中学校の全児童生徒が「栄っこ宣言」の唱和を実施することで、具体的な行動へと発展させていく。 	R3 予算	0
				R3 決算	0
合 計			R元 決算	31,989	
			R2 決算	38,755	
			R3 予算	49,596	
			R3 決算	44,653	

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		きめ細かな学校教育の推進					
現状と課題		<p>栄町では、「学校教育」を進める上で、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指している。学校・家庭と地域及び子供たちが「みんなで支え、共に伸びる教育」を柱とし、子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きていけるよう、基礎・基本の定着を図り確かな学力を習得させるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を推進してきた。</p> <p>自ら学ぶ意欲を身に付けた心豊かでたくましい子供を育てるためには、学校支援教員や介助員を活用したきめ細かな教育の展開や家庭や関係機関との連携による心の教育の充実、教職員の指導力向上などが求められている。</p>					
施策の情報整理	目指す成果	一人ひとりの個性を生かす教育を充実することによって豊かな心を持ち、社会の変化に対応するたくましく生きる児童生徒を育成することができている。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
			小 一	目標値 80%	実績値 83%	目標値 90%	
		中 一	目標値 70%	実績値 59%	目標値 90%		
		小 74%	目標値 82%	実績値 66%	目標値 90%	学校生活アンケートによる「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合	
	中 80%	目標値 86%	実績値 88%	目標値 90%			
	施策全体の達成度(★★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		21,963 千円	20,670 千円
	達成度の理由	令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、学校の多くの行事が中止、縮小など例年と異なった形で実施されることとなった。町主催の小中連携プロジェクト会議や小中生徒指導会議等についても、令和2年度に引き続き中止・縮小とすることが多く、また、各校への相互授業参観などの機会がほとんどなく、町内の教職員の連携は2年続けて十分に行うことができず、「小中が連携して児童生徒を育成することができていると感じている」教員の割合の減少につながったものと考えられる。しかし、各校においては、小中のつながりを意識しながら、児童生徒の学習支援、生徒指導支援を行ってきた。また、スクールカウンセラーや教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書の配置は引き続き計画的に実施され、チーム学校として協力連携して、業務を遂行することができた。これらにより、きめ細かな学校教育が推進されていることから、「目標をほぼ達成」と判断した。					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書の配置により、本務教職員の校務負担が軽減され、教職員の児童生徒に向き合う時間の確保、学習指導準備等の時間の増加など、働き方改革につながり、結果として児童生徒への指導が充実して行えるようになった。学校図書館の蔵書については、標準冊数を維持することとなり、児童生徒の読書活動の充実が図られている。						
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	・教職員のモラルアップに対する取組 ・学習環境と教員の「授業力」の向上 ・特別支援教育に関するニーズの高まりときめ細かな対応 ・スクールカウンセラーの必要性の高まり						
住民との協働や他課の事業との連携	・総務課(会計年度任用職員(教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書等)の配置) ・福祉・子ども課(生活保護世帯対象のサポート塾に生活困窮対象生徒が参加し、個別支援による学習に取り組んだ。)						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① 不登校相談・支援推進事業	○教育相談体制整備業務 ・教育相談体制として教育相談員、小学校スクールカウンセラーを配置し、各校平均月1日のカウンセリングを行った。 ○教育支援センター運営事業 ・「ゆうがく館」に小学生3人、中学生7人が継続して通所した。 ゆうがく館は、学校適応専門官を配置し、不登校児童生徒への登校刺激や指導に当たるとともに、家庭訪問の実施や保護者との面談等による連携を行った。 また、教育支援センター指導員を配置し、不登校児童生徒に対する指導、相談及び集団適応支援を行った。 土曜日開館については、事前に希望をとり、対応した。	【取組への課題】 ・不登校対策として小中学校とゆうがく館との情報共有や連携が課題である。	R元 決算 3,010
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・学校適応専門官による学校、児童生徒、ゆうがく館、家庭等支援。 ・スクールカウンセラーを小学校4校に1人継続的な配置をする。 ・アウトリーチ型の長欠児童生徒対策については、学校適応専門官が家庭訪問を行い、児童生徒や保護者の支援が直接できるようにする。 ・不登校対策にかかる専門員の配置について検討する。	R2 決算 2,929
			R3 予算 3,832
			R3 決算 3,101

② 個に応じた授業を推進するための教員の配置	<p>○指導法改善推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4校に学校支援教員(6人)を配置した。 <p>○特別支援教育整備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校に5人、中学校に2人の介助員を配置した。 <p>○教育支援委員会運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会を年間2回開催し、適正な就学支援を行った。 <p>○体育教育の研究を続けている、安食台小学校への支援を行った。</p>	【取組への課題】	R元 決算	13,351
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒が年々増えていることから、就学相談・就学指導を適切に行うとともに、介助員の支援時間数増についても検討する。 ・インクルーシブ教育システム構築のための研修を推進し、どの児童生徒にとってもわかりやすい授業づくりをめざす。 ・町内教職員の指導力向上のため、小・小、小・中連携を拡大していく。 	R2 決算	12,647
		【課題を踏まえ今後の対応】	R3 予算	15,084
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を踏まえた就学相談業務、就学指導について適切に対応していく。また、学校、教育委員会の役割を明確化するとともに、特別支援学校も含めた3者間の連携を密にし、児童生徒の状況に応じた就学支援を行っていく。 ・特別支援教育の教育課程、個別の指導計画、個別の教育支援計画の更なる充実を図る。 ・小中連携プロジェクトにより、栄町教職員全体での共通課題を持ち、小・小及び小・中連携を推進していく。 	R3 決算	14,880
③ 読書活動支援の充実	<p>○各小中学校に、学校図書館司書を週あたり2日配置し、児童生徒の読書活動の支援に取り組んだ。</p> <p>支援には本の充実だけでなく、図書室の運営、環境整備も行い、児童生徒にとって通いたくなる場所の提供につながった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、学校図書館の蔵書がほぼ標準冊数となり、児童生徒の読書活動の充実が図られた。</p> <p>○安食小では、文部科学省の「学校図書館活性化調査事業」により、図書ボランティアの方々の協力による図書室支援を行うことができ、児童の読書活動の充実につなげることができた。</p>	【取組への課題】	R元 決算	2,384
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書として継続して勤務できる専門性の高い人材確保が課題である。 ・ほぼ標準冊数となった各学校の学校図書館の蔵書の適切な管理と、効果的な活用が課題である。 	R2 決算	2,396
		【課題を踏まえ今後の対応】	R3 予算	3,047
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習意欲向上のため、学校図書館司書を継続して配置する。 ・司書同士の研修会や交流会を企画し、図書室の環境などを相互に高めあう環境をつくる。 ・学校図書館と町図書室をつなぐ、コンピュータシステム等の導入により、適切な蔵書管理や効果的な学校図書の利用を図る。 ・安食小学校の研究を他校へ広めていく。 	R3 決算	2,689
合 計			R元 決算	18,745
			R2 決算	17,972
			R3 予算	21,963
			R3 決算	20,670

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		学力向上の推進					
現状と課題		<p>栄町では、「教育を進める上で、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を育成している。学校・家庭と地域及び子供たちが「みんなで支え、共に伸びる教育」を学校教育の方向性として位置づけ、子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きていけるよう、基礎・基本の定着を図りながら学力を習得させるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を推進してきた。自ら学ぶ意欲を身につけた心豊かでたくましい子供を育てるためには、各種の学力向上事業の推進により、基礎基本の知識技能に加え、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度や能力といった学力を確実に育成することが求められている。</p>					
目指す成果		基礎・基本を定着させ、思考力・判断力・表現力を伸ばす教育が充実することによって、グローバル化等、社会の変化に主体的に対応できる人材を育成することができている。					
施策の情報整理	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
			小 85%	目標値 90%	目標値 90%	目標値 90%	
		授業がわかる児童生徒の割合	実績値 91%	実績値 85%	—	学校生活アンケートによる「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合	
			中 74%	目標値 85%	目標値 85%		目標値 90%
	家庭学習に毎日取り組む児童生徒の割合	実績値 91%	実績値 95%	—			
		小 72%	目標値 80%	目標値 85%	目標値 90%		学校生活アンケートによる「学校の勉強以外に勉強をしている児童生徒」の割合
実績値 82%	実績値 79%	—					
中 67%	目標値 75%	目標値 80%	目標値 85%				
	実績値 85%	実績値 83%	—				
施策全体の達成度 (★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		17,166 千円	15,272 千円	
達成度の理由	令和3年度は、令和2年度中のような新型コロナウイルス感染症の拡大防止による町内全小中学校を対象とした臨時休業は行わなかったものの、新型コロナウイルスの収束は見えず、児童生徒は不安を感じながらの生活になった。学校は、「新しい生活様式」のもと、感染症対応に留意しながらの学校教育活動の展開となった。感染症対策を実施しながらの工夫した教育活動も多くみられ、タブレットを活用した学習や、基礎学力向上に向けた取組ができた。しかし、話し合い活動など、児童生徒がコミュニケーションを取り合いながら行う学習についてはまだ制約も多く、十分な取組ができなかったこともあり、小学校において「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合の低下につながったものとする。わくわくドラムについても新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いたが、開催してからは児童生徒の積極的な参加がみられた。以上のことから「目標をほぼ達成」と判断した。						
設定成果指標以外に現れた成果の説明	新型コロナウイルス感染症対策を十分実施した中での取組が行われてきたが、児童生徒も、各種行事の中止や縮小、これまでの生活と異なった学校生活となったが、「新しい学校の生活様式」にも慣れてきており、集中して学校生活に取り組むことができ、意欲的な学びにつながったと考える。						
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	・学習環境と教員の「授業力」の向上 ・児童生徒が、自ら課題を見つけ、家庭学習に取り組むことができるような支援 ・家庭との連携による家庭学習の充実、家庭での持ち帰りタブレットの効果的活用と保険対応						
住民との協働や他課の事業との連携	・福祉・子ども課、生涯学習課(学校を通じて提出された要保護標準保護の申請書をもとに、情報交換を行った。)						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① わくわくドラム推進事業	○栄フューチャースクール(わくわくドラム)事業 学力と学習意欲の向上に向けた学習道場の推進 休業中の児童生徒の家庭学習の習慣づけに寄与するとともに、基礎基本の充実、探究的学習への意欲づけを図ることができた。 ・サタデーわくドラ…新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全20回予定中、12回開催。児童生徒71名参加 ボランティア128名参加 ・ウィンターわくドラ…冬季休業中に3回開催。児童生徒81名参加 ボランティア67名参加 ・サマーわくドラ…新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全10回予定中、3回実施。児童生徒81名参加 ボランティア63名参加	【取組への課題】 ・学年、学校により、県学力検査の県平均を上回っていない教科がある。 小中連携による実効性のある授業改善研修を一層推進する。 ・支援していただける協力員の確保をする。	R元 決算	2,017
			R2 決算	2,107
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・県学力検査の落ちている領域を明らかにし、計画的に取り組んでいく。 ・小学校低学年から支援する体制の必要性について議論していく。 ・小中連携教育の中で、「自分の言葉で学習のまとめ・振り返りを書く」活動を位置づける。 ・「学力パワーアップ総合月間」の充実を図る。 ・年間を通して、「わくドラ」として栄フューチャースクールを維持・発展させるためのボランティアスタッフの確保と研修を行う。	R3 予算	2,019
			R3 決算	1,524

②	中学生海外派遣事業	<p>○栄町元気事業支援日本食研基金中学生海外派遣事業</p> <p>・国際理解教育の推進のため、町内の中学生をオーストラリア・メルボルン州へ派遣し、現地校での語学研修とホームステイ体験を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができなかった。</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったことが、翌年以降の中学生の意欲の低下につながるような取組が必要となる。</p>	R元 決算	3,662
				R2 決算	3,746
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・SNSやICT等を活用して、現地の方々と交流を継続し、国際化社会で生きる生徒を育むとともに、海外派遣事業に参加できなかった他の生徒にも国際交流や異文化交流で培ったものを還元できる場を設定する。</p>	R3 予算	0
				R3 決算	0
③	外国語教育の推進	<p>○小中学校外国語教育推進業務</p> <p>・小中学校に外国語指導助手(ALT)を小学校2名、中学校1名を配置し、小学校外国語活動及び外国語、中学校英語指導の支援を行った。</p> <p>・中学校卒業時に英語検定3級以上の英語力を身に付けていることを目標とし、年間1回受検料の全額助成を行った。</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・小学校外国語活動及び外国語科の充実を図る必要がある。</p> <p>・指導と評価の一体化のため、教師力の向上の必要がある。</p> <p>・国際化社会に生きる児童生徒の実現に向け、国の設定する目標「中学3年生の半数が英語検定3級相当の英語力を身に付ける」ために具体的な対策が必要である。</p>	R元 決算	11,534
				R2 決算	13,332
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・より多くの生徒が英語検定のより高い級を受験し、かつ合格できるよう、学習支援を行っていく。</p> <p>・ALTによる英語検定2次試験対策を行い、英語検定3級取得に向けた支援を充実させる。</p> <p>・ALTによる小学校教員への研修を行う。</p> <p>・安食小学校に配置された英語専科の教諭や中学校の英語科教諭の専門性を生かし、小中連携の視点で研修を推進する。</p> <p>・英検助成制度の周知を図り、上位級の取得に向け計画的に検定を受けることができるよう支援する。</p> <p>・中学校の全ての英語学習でALTがかかわった授業を実施することができるように、1名を増員する。</p>	R3 予算	15,147
				R3 決算	13,748
合計				R元 決算	17,213
				R2 決算	19,185
				R3 予算	17,166
				R3 決算	15,272

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		教育行政の推進					
現状と課題		町の人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少や、長期にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が予測される中、学校運営や教育活動など子どもたちへの教育の影響の大きさが懸念される。児童生徒及び教職員がよりよい環境で学習することができ、安心して学校生活を送れるようにするための学習環境の整備が必要である。児童生徒が、健全育成のため物心両面にわたって必要な支援援助を受けることのできる体制を整備し、そのための手立てを講じる必要がある。					
施策の情報整理	目指す成果	児童生徒が学校生活に必要な援助が受けられるとともに、健康面における支援を受けられることにより、安心して学校生活を送れるようになっている。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
		学習支援を充実させるための事業に対する苦情件数	0件	目標値 0件 実績値 0件	目標値 0件 実績値 0件	目標値 0件 —	
	施策全体の達成度(★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		177,340 千円 170,388 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園保育料等補助金、私立幼稚園児副食費助成金について適正に執行することができた。 ・就学支援事業については、支援を望む保護者に対し、公平公正な調査と必要な支援を行うことができた。 ・教育委員会の所管事項の審議や報告について、教育委員会会議定例会を12回、布鎌小学校校舎大規模改修工事に係る契約等について臨時会を1回開催したほか、重要事項について調査研究を行う委員協議会を2回開催した。今後も円滑に教育行政を行えるよう適正な時期に会議を開催する予定である。 ・私立幼稚園保育料等補助金の交付、支援を望む保護者への就学支援及び第3子以降給食費の無償化事業等の児童生徒の学校生活に必要な支援援助を行い、苦情はなかったことから「目標を達成」と判断した。 					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	第3子以降の給食費の無償化や私立幼稚園保育料等補助金、私立幼稚園児副食費助成金の助成により、保護者が安心・安定して児童生徒、園児を登校、登園させることができた。事故なく給食の提供を行うことができ、児童生徒の健康増進に寄与している。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	学校、保護者と連携した、食物アレルギーを持つ児童生徒の確認と安全安心な給食の提供及びアナフィラキシーショックへの対応。					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・子ども課(私立幼稚園就園支援事業) ・健康介護課(食育 歯科保健指導) 						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 私立幼稚園就園支援事業	○私立幼稚園保育料等補助金業務 世帯の所得に関係なく、国の幼保無償化に伴い、幼稚園に支払う保育料及び入園料について、月額25,700円を上限とした補助を行った。(町から幼稚園に直接補助することで保護者負担がなくなった)	【取組への課題】 ・特になし。	R元 決算	23,309
			R2 決算	27,557
	○私立幼稚園児副食費助成金業務 施設等利用給付認定保護者が支払うべき食事費(副食費)について、世帯の町民税所得割額の合計額が、77,100円以下の世帯に対し、申請により月額4,500円を上限に助成金の交付を行った。	【課題を踏まえ今後の対応】 ・幼稚園の事業運営の経費にもなるため早期に補助金の支払い手続きを行っていく。	R3 予算	32,760
			R3 決算	32,001
② 就学援助事業	○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 ・学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、教育委員会会議で認定を受け、必要な援助を行った。 (3年度末現在小学校17人 中学校13人)	【取組への課題】 ○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 認定基準では前年分の所得により判断しているが、生活状況が申請時の経済状況と必ずしも一致していない。 ○特別支援教育就学奨励業務	R元 決算	3,369
			R2 決算	3,560
	○特別支援教育就学奨励業務 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、その負担の能力に応じ、就学に必要な援助を行った。	【課題を踏まえ今後の対応】 ○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 ・民生児童委員による聞き取りを踏み込んだ形で行ってもらうよう依頼するとともに、必要に応じて申請者と面接をするなどの確認をしていく。 ○特別支援教育就学奨励業務	R3 予算	6,529
			R3 決算	4,165

③ 学校給食センター運営事業	<p>○町内の児童生徒に対し、安全安心な給食を提供するため、給食運営事業を円滑に行った。 5月1日現在 児童数790人 生徒数374人 実施回数：193回</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業に伴い食材等の調整を行い食品ロスの軽減に努めた。</p> <p>○布鎌小学校・安食小学校の児童に対し施設見学の受け入れを行った。</p>	【取組への課題】 ・安全安心な給食を提供するため、施設の維持・管理・知識や情報の取得や共有など適切な運営に努める必要がある。 ・事業の財源である学校給食費における未納者への対応。	R元 決算	123,277
			R2 決算	121,715
		【課題を踏まえ今後の対応】 適切な施設の維持・管理、衛生管理基準等の規定の遵守、研修会や会議に参加するなどスキルの向上や新たな情報を取得し、給食の異物混入、新型コロナウイルス等の感染症予防対策を講じて安全安心で適切な給食を提供する。 また、アレルギー疾患のある児童生徒、保護者、学校に、給食の食材の詳細な品目について、情報を発信し食物アレルギー対策を行う。 ・学校給食未納者に対し、納付書を送付し支払いを依頼するとともに、児童手当からの徴収も実施し、収納対策の強化を図る。	R3 予算	138,051
			R3 決算	134,222
④ 第3子以降給食費の無償化事業	<p>○保護者の経済的負担の軽減及び子育て支援のため、第3子以降の給食費の無償化を実施した。</p> <p>第3子無償化による減免額 小学生 84名×4,500円×11月=4,158千円 中学生 25名×5,100円×11月=1,403千円 合計 109名 5,561千円</p>	【取組への課題】 ・特になし。	R元 決算	0
			R2 決算	0
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・学校を通じ本事業を周知するとともに、今後も継続実施する。 (※第3子無償化は減免事業となるため、予算計上はなし。) 次年度以降、第2子以降給食費の無償化についての検討をしていく。	R3 予算	0
			R3 決算	0
合 計			R元 決算	149,955
			R2 決算	152,832
			R3 予算	177,340
			R3 決算	170,388

学識経験者の意見（基本方針（Ⅱ）について）

【施策名：特色ある学校づくりの支援】

・成果指標より実績の児童生徒へのアンケートというところで、小学生が令和2年度に比べて実績値が下がっているという。この辺、子供たちが、例えば将来自分の夢をもつことよりも、かなり今情報過多の時代になって、端末も個人個人持つようになって、いろんなものが入ってくる。情報が入ってきてより現実的になってしまっているのが下がってしまっているのかなという気がしたんですけども、子供たち自身が将来こうなりたいとか、そういう夢を持つのも非常に大事だと思うんですね。ですから、その辺の環境作りみたいなもの、それもできたらいいのかなと思いますけども。やはりどうしても、いろんな情報が入ってきてしまうと、夢よりも現実の方に引き込まれてしまうのかなというふうに感じました。

・スクールバスの運行事業で、シルバー人材センターさん、かなり高齢の方が運転しているのでちょっと心配になりました。ですから、委託先を一般の業者に委託されることはよかったですかなと思います。

・学校評議員、これ制度的なものですけど、学校の業務運営委員会みたいな形に変わっていくのでしょうか。

・コロナで行事が中止になったことで、いろんところで何をやっているのかわからない保護者が多いので、アピールが必要なのかなと思いました。ただ、学校にお任せするのも学校の負担も多いし、教育委員会だけをお願いする訳にはいかないの、ふれあい推進委員の方とか地域の方の協力を得ながら保護者の方と学校にアピールを頑張っていければよいかと思います。

【施策名：きめ細かな学校教育の推進】

・中学校の方は令和2年度から令和3年度、だいぶ数値が落ちていると思いますが、何かこの辺は要因分析みたいなことはやられていらっしゃるのでしょうか。

・児童生徒の「自分にはよいところがある」という割合、パーセントの数字が載っていますが、これも、これですとまあまあ、なかなか自分を辛い目で見ているところなんではないかな。でも、「よいところ」を自分でわからない子もいるのかもしれないので、周りで「よいところ」をどんどん褒めてあげると、またさらによくなっていくのかなという気がいたします。その辺が低かったものから、質問させていただきました。その中で先生方も児童生徒に向けてかなり力を入れて一生懸命指導されているということが、書いてある事業の結果わかりますので、これからもぜひよろしくお願ひしたいと思います。

・司書の先生がすごく頑張ってくれており、子供たちに対して図書室に来てもらえるようにという、ディスプレイに始まって、いろんな本の紹介だとか、町の図書館も新しい本が入れば、すぐそれをお知らせとかで学校にもプリントで送ってくれたりしていたので、子供たちも本を手に取りやすくなった。今まで遠のいていたけど、新しい本がきたよとか、これがきたよ、とか楽しそうに本を手にするのを見ていたら、コロナだけどもいろんところで楽しくやっているんだなあとすごく感じたので、図書の司書の先生や、町の図書館の方たちの努力のおかげで、

子供たちも本の楽しさとかをわかってもらえたみたいで、本当によかったと思います。このまま続けていただければよいかなと思います。

【施策名：学力向上の推進】

・成果指標指数をみますと、小学生に関しては、令和2年度より令和3年度が若干さがっている。理想とすれば100パーセントになるというのが理想なのでしょうけども、なかなか現実はそのもいかないということで、かなり高い数値が出ていると思っています。中学生に関しては、91パーセントから95パーセントに上がっているので、その辺先生方が力を入れてやってらっしゃるのかなという気がいたします。やっぱりコロナの影響というのも、小学生の場合は多少あるのでしょうかね。家庭学習に取り組む、これは自分の子供の頃を考えると、学校が終わって家に帰って勉強するなんてことはなかったものですから、すごいなと思いました。

・外国語の推進というところで、前回ちょっとお話したんですけど、小学校の英語の授業を参観させていただきまして、授業中全て英語で、日本語を使わない事に私も驚き、かなり印象が深かったです。これからを考えると、ぜひ身に付けなければならないことなので、さらに力を入れていただけたらありがたいなと思います。

・ALTの先生の距離感をみていると、たくさん接するだけあって、よいことなのかなと。小さいうちから英語に接してもらったほうが、今後英語は必要なので、どんどん機会を増やしてもらって、どんどん英語がしゃべれる子供たちを作って、栄町を発展させて欲しいと思います。

【施策名：教育行政の推進】

・第3子以降の就学時の給食費の無償化ですが、私立幼稚園のような助成が手厚くされているということで、少子化が進んでいる中、その歯止めになればよいなというふうに考えています。栄町の人口も徐々に減少している中で、子供たちがまた増えてにぎやかになればよいなと考えています。よい制度だと思っています。

学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

学校教育課より

【施策名：特色ある学校づくりの支援】

・これは来年度から、コミュニティスクールということで、学校運営協議会という名称になります。そこで選出される役員の方と、今までやっていた学校評議員さんというのは、ほとんど文科省が考えている方が一致してしまいますので、今の評議員さんプラス保護者代表の方とかになっていかざるを得ないかなと思っておりますので、学校評議員制度は、発展的解消ということで、これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律で努力義務が課せられておりますので、来年度5校一斉に取り組みたいような形で、生涯学習課の方で規則等を作っているところであります。

【施策名：きめ細かな学校教育の推進】

・特に一人一人に調査を行った訳ではないですが、アンケートの結果では中学校はかなり低い数値になっているということです。学校にお聞きしたところ、先ほども達成度の理由の中でもお話ししましたが、2年続けて小中連携プロジェクト会議が行われず、小中生徒指導会議が実施できない、それから、栄町学校教育振興会の総会として、例年町内全ての教職員が一同に会して話し合ったりする会がありますが、その会も続けて行われずというようなことになりました。そういった中で、なかなか中学校の先生にとっては、小学校の先生方と交流する機会がなかったということです。それが令和2年度・3年度と、2年続けてということで、距離が離れていった感が少しあったのではないかと考えてます。中学校の先生方と小学校の先生方の連携が図れるように取り組んでいる状況です。

【施策名：学力向上の推進】

・コロナ禍により、特に話し合い活動など十分にできないなどの状況がありましたが、各校、各担任が、授業改善などの工夫により、「新しい生活様式」の中での、わかる授業への積極的な取り組みを実践していただきました。

中学生の海外派遣については、2年続けて中止となってしまいました。英語学習については、会話を伴う授業で、コロナ禍の中、多くの制約があるところですが、各校に配置したALTと担任の先生方の連携により、児童生徒が楽しく英語を学ぶことができています。

今後は、さらにALTとの連携を強化するなどし、英語検定への受験者についても増加できるように取り組んでいきたいと考えています。

【施策名：教育行政の推進】

・今までは全部町単費で第3子の給食を出していただんですが、今度は県が半分出してくれるということになって、その半分以上を第2子とかに補助するしかないのかな、というご意見とさせていただきます。

基本方針（Ⅲ） 生きがいがある学習やスポーツ環境づくりを推進します。

生涯学習やスポーツを通じて、心身ともに健康で生きがいのある生活と心のかよふ地域社会をつくとともに、地域の教育力を活かした子どもたちの健全育成を推進します。

【施 策 名】

- ・生涯学習機会の充実 P 2 3
- ・生涯学習施設の充実 P 2 5
- ・スポーツ環境づくりの推進 P 2 6

○学識経験者の意見 P 2 8

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について P 3 0



施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		生涯学習機会の充実					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校が連携・協働して地域全体で子供たちの成長を支えていく地域学校協働活動を推進するため、各小学校区単位に協働本部(ふれあい推進委員会等)を設置し、見守り、環境美化、体験活動、施設メンテ等のボランティア活動が積極的に行われているが、活動者の後継者や人員が不足しているため、幅広い地域住民が参画できる取組が必要である。 趣味や関心に基づく個人的な学習活動のみならず、社会的な課題に取り組む学習を支援するため、民間事業者等の活動のみでは得られない学習機会や情報を、行政が積極的に提供する必要がある。 生涯学習事業を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症予防策を講じる必要がある。 					
施策の情報整理	目指す成果	多様化する学習ニーズに対応し、誰もが参加しやすい学習環境づくりを進めることによって、各種講座などの参加者や図書館の利用者が増加している。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
		生涯学習事業参加者数	3,352人	目標値 3,480人 実績値 977人	目標値 3,510人 1,342人	目標値 3,540人 —	生涯学習事業(各種講座、放課後教室、地域ふれあい交流事業、体験学習事業、成人式、青少年相談員事業、家庭教育学級、読書教育)の参加者数及びボランティアスタッフ数
		ふれあいプラザ利用の学習サークル数	59団体	目標値 60団体 実績値 56団体	目標値 61団体 51団体	目標値 61団体 —	ふれあいプラザさかえを拠点に活動する学習サークル等の登録団体数
		図書館利用者数	18,007人	目標値 18,300人 実績値 13,399人	目標値 18,400人 17,833人	目標値 18,500人 —	貸出者数(個人・団体)
		図書館利用の貸出蔵書数	57,622冊	目標値 58,300冊 実績値 59,003冊	目標値 58,600冊 68,363冊	目標値 58,900冊 —	図書館の蔵書の貸出延べ冊数
	施策全体の達成度(★★★)	—	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		7,633 千円 7,332 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部事業を中止し、生涯学習事業の参加者数は目標に届かなかったが、数少ない事業における参加者の満足度アンケートは平均で90%となっており、高評価が得られている。 ふれあいプラザ利用の学習サークル数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の自粛などをきっかけに解散する団体が増加した。 図書館の貸出し冊数の制限を5冊から10冊に増やしたことから、図書館の貸出し数が増加し、目標を達成することができた。 上記のとおり成果はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による各事務事業の制限が多く、成果指標と実績値が機能しないことから「現時点では判定できない」と判断した。 					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により様々な制限の中、万全な感染対策を施し緊急事態宣言の解除後にはふれあい推進委員や青少年相談員などが中心となり青少年関係団体の活動が展開された。 放課後ふれあい教室は、令和3年度は運営スタッフにより協議した結果、子供たちの安全確保が最優先と考え中止せざるを得なかった。 いきいき塾さかえは、ふれあいプラザさかえ利用サークルが講師を務めるなど、日ごろの学習成果を発揮できた。 					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校との連携協力体制や家庭と地域の連携した安全安心の確保が求められている。 子供たちの他校や異学年との交流機会の提供と活動支援が求められている。 多様な学習情報の提供が求められている。 レファレンスサービス(利用者の調べ物の手伝い)の充実と利用の促進のための情報発信が求められている。 新型コロナウイルス感染症予防への対応が求められている。 					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働本部、社会教育活動支援事業、ドラマ自然楽校等体験事業、その他地域教育関連事業は、ドラマ自然楽校実行委員会、青少年相談員連絡協議会、小学校区ふれあい推進委員会、ふれあいプラザ利用サークル、成人式実行委員会、地域のボランティア等との連携及び協働により実施している。 						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① いきいき塾さかえ事業	○いきいき塾さかえ講座(合計104人) ・浴衣着付け教室(中止) ・スマホ教室(10名) ・キッズ教室(延べ参加者94人) 陶芸(30人) 切り絵(5人) 色鉛筆画(18人) 書初め(20人) プログラミング(21人) ○社会教育委員会議(8月・3月書面開催)、印旛都市社会教育振興大会等	【取組への課題】 ・講師を依頼しているボランティアの不足及び高齢化が過去からの課題となっており、新たなボランティアの発掘と事業内容の見直しが必要である。	R元 決算 173
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・住民ニーズの把握をすることと社会情勢を的確に捉え、事業内容に反映させ町民にとって有意義な講座を開催するとともに、新たなボランティアの発掘を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を的確に捉え、事業の実施の有無を判断し感染拡大の防止を図る。	R2 決算 197
			R3 予算 329
			R3 決算 265

②	<p>ドラム自然楽校等体験学習事業</p> <p>○自然体験活動の推進「ドラム自然楽校」 ・田植え(中止) ・開会式・木工クラフト(6月) ・ドラゴンカヌー(中止) ・稲刈り(中止) ・タグとり鬼ごっこ、コスプレ(10月) ・どらまめ収穫(10月) ・クリスマスリース作り(11月) ・脱穀・糺摺り・新米試食(中止) ・親子凧揚げ・閉校式(中止) (4回:延べ参加者150人、スタッフ82人)</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・子どもたちが地域のことを知る機会として、ドラム自然楽校の体験内容を拡大する必要がある。</p>	R元 決算	80
			R2 決算	50
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により田植えなどの稲作体験は中止となった。また、ドラゴンカヌーは支援団体が活動を中止したため体験ができなくなってしまったが、どらまめ収穫、クリスマスリース作り、親子凧揚げは予定通り実施する予定。 今後、体験内容の拡大に向け、畑作体験やハイキングなど新しい自然体験を検討し、産業課や関係団体などの協力を得られるよう働きかける。</p>	R3 予算	1,080
			R3 決算	983
③	<p>図書室運営事業</p> <p>○資料の収集提供・レファレンスサービス等 ・購入:551冊/寄贈486冊 ○展示・貸出コーナー ・一般書・児童書コーナー:22回設置 ○学校図書室の支援 ・各学校への貸出:53件・1,928冊 ○絵本の読み聞かせ会(7回:81人) ○夏のおはなし会(中止) ○人形劇公演(中止) ○クリスマスおはなし会(中止) ○夏休み図書室スタンプカードの発行 ・185枚配布77名達成 ○読書手帳の発行 ・300枚配布 ○本の福袋 ・50セット配布</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・コロナ感染対策を講じながら圖書の貸し出し冊数及び利用人数の減少を回復させることが課題である。</p>	R元 決算	5,486
			R2 決算	6,827
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・広報さかえに話題となっている本を継続して掲載したり、児童クラブや幼児イベントなどへの貸出しなどを行い、図書室の利用者数を増加させる。</p>	R3 予算	3,524
			R3 決算	3,524
④	<p>学校支援本部事業</p> <p>○放課後ふれあい教室事業 【事業費】0円 平日・布鎌小(中止) ・安食小(中止)</p> <p>○地域学校協働本部事業 【事業費】548千円 ・安食小学校区ふれあい推進委員会 (登下校見守り・花壇整備・植木剪定・読み聞かせ・ふれあいサマーレクリエーション) ・安食台小学校区ふれあい推進委員会 (ふれあいキャンプ) ・布鎌小学校区ふれあい推進委員会 (奉仕作業・キャンプ大会・ふかま祭り) ・竜角寺台小学校地域学校協働本部事業 (登下校見守り・学習支援・施設点検・読み聞かせ・環境整備作業・花植え・ふれあい学級・ドラゴンまつり等)</p> <p>○家庭教育支援事業(IIKS) 【事業費】1,567千円 ・開級式 ・講演会(35人) ・工場見学(中止) ・閉級式(中止)</p> <p>○地域学校協働推進員 意見交換会 【中止】</p> <p>○青少年相談員事業 【事業費】225千円 ・子どもスポーツ大会(72人) ・なぞときアドベンチャー(68人) ・成人式フォトスポット設置</p> <p>○成人式 (新成人参加者110人)</p> <p>○PTA連絡協議会補助 【事業費】220千円</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・学校と地域の協力体制を構築し地域や学校での問題解決につながるよう、地域学校協働活動(ふれあい推進委員会の活動含む)を活性化させる必要がある。</p>	R元 決算	4,041
			R2 決算	2,003
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・地域学校協働活動をはじめとする放課後ふれあい教室での地域運営スタッフが不足していることから、広報紙やホームページなど情報媒体を効果的に活用し、地域住民が事業内容に興味をもってもらえるような広報活動を実施する。 ・令和5年度4月から導入予定のコミュニティスクールと地域学校協働本部との連携を図る。</p>	R3 予算	2,700
			R3 決算	2,560
合計			R元 決算	9,780
			R2 決算	9,077
			R3 予算	7,633
			R3 決算	7,332

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施 策 名		生涯学習施設の充実					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ふれあいプラザさかえの経年劣化による施設の不具合が多く発生しており、その解消が望まれている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、新しい生活様式を取り入れつつ利用者の安全に配慮しながらの利用方法や施設の改修が望まれている。 ふれあいプラザさかえは、町の避難所の指定を受けていることから、近年、多発している自然災害への対応が求められている。 					
施策の情報整理	目指す成果	・利用者が生涯学習施設を安全安心に利用できるよう、必要な修繕や改修工事が計画的に行われている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		ふれあいプラザさかえの改修数	1箇所	目標値 1箇所 実績値 2箇所	目標値 1箇所 6箇所	目標値 1箇所 —	栄町公共施設等総合管理計画(ふれあいプラザさかえ個別施設計画)に基づく改修工事
	施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		79,225 千円	75,352 千円
	達成度の理由	・利用者の利便・安全に配慮しつつ、計画的に改修工事を実施した。また、工事日を休館日に設定するなど利用者の利便性を損なわないようにしたことから「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	・施設の経年劣化による修繕箇所が多く発生しているが、補正等も含め配分された予算内で措置をしている。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいプラザさかえは、町の避難所の指定を受けていることから、近年、多発している自然災害への対応が求められている。 経年劣化による設備等の不具合が発生することが予測される。 					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 総務課(安全対策推進室)、環境協働課(住民活動支援センター)、福祉・子ども課(子育て包括支援センター) 住民活動団体が、ふれあいプラザさかえ敷地内の除草作業及び植木の剪定や花壇の整備を行っている。 						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① ふれあいプラザ施設大規模改修事業	○ふれあいプラザさかえ文化ホール空調設備等改修工事 決算額 29,799千円(地方創生臨時交付金、繰越明許)	【取組への課題】 ・「ふれあいプラザさかえ個別施設計画」に基づき計画的に改修を進めているが、経年劣化による設備の故障が多く発生している。 ・効率的かつ効果的な予算執行に努めたいが、施設の経年劣化による突発的な修繕等が発生した際の対応が遅れてしまい、利用者サービスの低下につながる。 【課題を踏まえ今後の対応】 ・「ふれあいプラザさかえ個別施設計画」に基づき計画的に改修を遂行するため、公共施設等長寿命化検討会において調整を図り進めていく。 ・利用者の安全面の確保に努め、設備の不具合の解消を図る。	R元 決算	15,599
	○ふれあいプラザさかえブラインド改修工事/基幹系LAN配線工事/網戸設備設置工事 決算額 2,136千円(地方創生臨時交付金)		R2 決算	3,658
	○自動ドアセンサー改修工事 942千円		R3 予算	37,578
	○消防設備修繕工事 1,019千円		R3 決算	34,383
② ふれあいプラザ施設維持修繕事業	○ふれあいプラザさかえの管理・運営を実施 ・施設総合管理や設備保守点検、特殊建築物定期報告調査等を委託 ・光熱水費(電気・ガス・上下水道)の支払い ・窓口業務の会計年度任用職員の調整 ・文化ホール業務委託(舞台・音響・照明のスポット委託)	【取組への課題】 ・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止へ向けた取組が求められている。 ・避難所として多発する自然災害への対応が求められている。 【課題を踏まえ今後の対応】 ・新型コロナウイルス対策として、新しい生活様式に対応した利用形態に移行するとともに、徹底した衛生管理を実施した施設管理に努める。 ・町総務課安全対策推進室と連携をとり、速やかに避難所を開設できる準備を進める。	R元 決算	50,368
			R2 決算	34,511
			R3 予算	41,647
			R3 決算	40,969
合 計			R元 決算	65,967
			R2 決算	38,169
			R3 予算	79,225
			R3 決算	75,352

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		スポーツ環境づくりの推進					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントを中心に町民が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やしていこうと試みている。 ・少子高齢化の影響もあり、既存のスポーツ団体の活動が衰退傾向にあるので、スポーツ団体の活動の活性化が今後の大きな課題である。 					
目指す成果		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや運動に親しみきっかけをつくるために気軽に取り組めるスポーツを推進することによって、スポーツや運動にふれる機会が提供されている。また、利用者が体育施設を安全安心に利用できるよう、必要な修繕や改修工事が計画的に行われている。 					
施策の 情報整理	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		スポーツ教室・大会等参加者数	7,664人	目標値 7,740人 実績値 337人	目標値 7,770人 1,674人	目標値 7,800人 —	スポーツ教室や大会等の参加者数
		体育施設の利用者数	82,998人	目標値 83,100人 実績値 35,772人	目標値 83,150人 57,642人	目標値 83,200人 —	スポーツ施設及び学校体育施設の利用者数
		体育施設の改修数	1箇所	目標値 1箇所 実績値 1箇所	目標値 1箇所 0	目標値 1箇所 —	学校施設を除く体育施設の改修工事数
	施策全体の達成度 (★★★)	—	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		9,626 千円	9,231 千円
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会・軽スポーツ教室参加者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、さかえりバーサイドマラソン、印旛郡市民スポーツ大会などが中止となり、目標を達成することができなかった。しかしながら、さかえスポーツフェスタ、軽スポーツ教室、健康づくり事業の運動教室については、スポーツ庁からの感染防止対策に関するガイドラインに従い、万全な対策で実施することができた。特に、さかえスポーツフェスタは多くのオンラインピクアスリートを講師に招いたことで、子どもたちのスポーツへの関心や気運が高まった。また、軽スポーツ教室、健康づくりの運動教室は、健康介護課との事業と共有した健康ポイント付与の実施により、スポーツを楽しむきっかけづくりができた。 ・体育施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により利用を停止していた期間があることから、目標を達成することができなかった。 ・体育施設の改修については、施設改修は実施できなかったが、スポーツ施設個別施設計画を策定し今後は計画に基づき、国の補助金など財源を確保し予防保全的な維持管理や計画的な修繕等を実施しライフサイクルコストの縮減や費用の平準化を図る。 ・上記のとおり成果はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による各事務事業の制限が多く、成果指標と実績値が機能しないことから「現時点では判定できない」と判断した。 						
設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に、旧公民館跡地をローヴァーズ株式会社と賃貸借契約を締結。令和3年度より、平日はサッカースクール、週末等には大会を開催し200名以上の集客があった。このことにより、地元経済効果やスポーツによる交流人口が増え地域の活性化を促進した。 						
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関心がない方や普段から体を動かす機会が少ない方などへ、運動やスポーツへの関心度を高め運動を習慣化させ健康増進や介護予防への意識改革を図る。世代ごとに体調管理など健康増進につなげることが必要である。 ・体育協会やスポーツ少年団の会員数の減少による組織の弱体化を防ぐため、新規会員の勧誘や新たな人材の発掘が必要となっている。 また、スポーツによる交流人口を生かした地域活性化が望まれている。 						
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員・体育協会・住民活動団体・順天堂大学等の団体と連携し各種の教室やスポーツ大会を開催することは従前通り継続していく。また、スポーツによる健康づくり事業も引き続き継続し、ライフステージに応じた運動、スポーツ参加者へのきっかけづくりや場所の提供によりスポーツ実施者を増やすとともに健康長寿社会の形成を進めていく。 						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① スポーツフェスタ実施事業	○子供たちが、スポーツへの関心や気運が高まることによって、オンラインピクなどで活躍するなど高い目標を持つことができるようにスポーツフェスタを実施した。 【さかえスポーツフェスタ(参加:合計146人)】 ・バレーボール教室(中学生43人) ・卓球教室(中学生40人) ・バスケットボール教室(中学生43人) ・陸上教室(中学生20人)	【取組への課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限をしながらの実施となった。実施にあつては感染対策を完全に準備する必要がある。 ・アスリートとの交流によって参加者がスポーツへの関心や気運が高まるよう、アスリートとの十分な準備が必要とされる。また、スポーツへの関心をさらに高めるためには、小学生の参加も検討する。 ・スポーツ振興くじ補助金を活用したスポーツフェスタは引き続き実施する。	R元 決算 2,096
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スポーツ庁のスポーツ活動に関する感染拡大予防ガイドラインを活用し感染対策を完全に準備する。 ・参加者のレベルに合った練習内容となるように、参加者の現状を把握しアスリートとの十分な打ち合わせを行う。小学生と中学生が合同で実施できるよう団体の指導者、アスリートなど関係者と十分な協議を行う。 ・スポーツ振興くじ補助金を活用しトップアスリートを招いてのスポーツフェスタは引き続き開催する。	R2 決算 1,786
		【取組への課題】 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策について、スポーツ団体に周知対策を徹底させる必要がある。 ・体育協会各専門部の登録人数の減少や高齢化により衰退・減少方向にあることから、新規会員の勧誘や新たな人材を発掘して、スポーツ人口の底辺を広げていく必要がある。	R3 予算 2,124
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スポーツ庁のスポーツ活動に関する感染拡大予防ガイドラインや日本スポーツ協会のスポーツイベント感染防止対策について必要な情報を周知する。 ・体育協会各専門部の活動のPRとして町広報を活用する。また、スポーツ推進員による軽スポーツ教室において、スポーツ団体と連携して活動を紹介し、スポーツ団体の新規会員の勧誘や新たな人材の発掘につなげていく。	R3 決算 2,059
② スポーツ団体活動支援事業	○各種スポーツの競技力の向上及び町民にスポーツを普及し、健康と体力向上の促進を図るため、スポーツ団体の支援を行った。 ・郡市民スポーツ大会(中止) ・印旛駅伝競走大会(中止) ・さかえオープンゴルフ大会(85人) ・体育協会各専門部大会等(中止:陸上、相撲) (一部実施:バレーボール、卓球、バスケットボール、野球、剣道、弓道、ソフトボール、柔道、ソフトテニス、硬式テニス、サッカー、ゲートボール、居合道、スポ少サッカー、スポ少野球、スポ少ミニバス) ・栄・鏡子センチュリーライド(中止)	【取組への課題】 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策について、スポーツ団体に周知対策を徹底させる必要がある。 ・体育協会各専門部の登録人数の減少や高齢化により衰退・減少方向にあることから、新規会員の勧誘や新たな人材を発掘して、スポーツ人口の底辺を広げていく必要がある。	R元 決算 2,420
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スポーツ庁のスポーツ活動に関する感染拡大予防ガイドラインや日本スポーツ協会のスポーツイベント感染防止対策について必要な情報を周知する。 ・体育協会各専門部の活動のPRとして町広報を活用する。また、スポーツ推進員による軽スポーツ教室において、スポーツ団体と連携して活動を紹介し、スポーツ団体の新規会員の勧誘や新たな人材の発掘につなげていく。	R2 決算 2,043
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スポーツ庁のスポーツ活動に関する感染拡大予防ガイドラインや日本スポーツ協会のスポーツイベント感染防止対策について必要な情報を周知する。 ・体育協会各専門部の活動のPRとして町広報を活用する。また、スポーツ推進員による軽スポーツ教室において、スポーツ団体と連携して活動を紹介し、スポーツ団体の新規会員の勧誘や新たな人材の発掘につなげていく。	R3 予算 2,754
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スポーツ庁のスポーツ活動に関する感染拡大予防ガイドラインや日本スポーツ協会のスポーツイベント感染防止対策について必要な情報を周知する。 ・体育協会各専門部の活動のPRとして町広報を活用する。また、スポーツ推進員による軽スポーツ教室において、スポーツ団体と連携して活動を紹介し、スポーツ団体の新規会員の勧誘や新たな人材の発掘につなげていく。	R3 決算 2,742

③	スポーツによる健康づくり事業	<p>○スポーツを通して健康なまちづくりを推進するため、ライフステージに応じた運動、スポーツ参加へのきっかけづくりや場所を提供した。</p> <p>【運動教室】 (参加: 合計192人) ・軽スポーツ(9回中7回実施: 102人) ・体力調査会(2回実施: 29人) ・いきいき広場 リンパマッサージ(1回実施: 17人) ヨガ(1回実施: 18人) ピラティス(1回実施: 11人) ノルディックウォーキング(2回実施: 15人) ・ちびっこ相撲体験教室(中止) ・小学生大相撲トーナメント(中止)</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止や人数制限をしながらの実施となった。実施にあつては感染対策を完全に準備する必要がある。 ・健康増進の意識付けを向上させ、運動教室の参加を促す必要がある。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の軽スポーツ教室は、ここ数年実施していたショートテニスから変更し、新たにポッチャを取り入れ実施した。令和4年度からは、ビックルボールも取り入れ2競技で軽スポーツ教室を実施する。今後は国などのガイドラインに従い感染対策を実施しながら、ポッチャ・ビックルボールだけでなく、町民ニーズに対応した新たなスポーツの体験を増やし、関係スポーツ団体等と連携して活動を紹介する。 ・いきいき広場の担当課である健康介護課と連携し健康増進や介護予防のための教室を実施していく。 <p>※予算・決算は、健康ポイントに関係する事業費を計上しています。</p>	R2 決算	348
			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に利用できるよう、体育施設を適正に管理する必要がある。 	R元 決算	8,844
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の適正な管理のため、点検・整備を定期的実施する。 <p>※予算・決算はスポーツ環境整備事業費を計上しています。</p>	R3 決算	0
④	社会体育館改修事業	<p>○安全かつ快適に施設を利用できるように、社会体育施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑の運動広場(テニスコート・野球場・多目的広場)(15,859人) ・房総のむら(テニスコート・多目的広場)(10,790人) ・町民体育館・学校体育館(25,147人) ・町民グラウンド(野球・サッカー)(5,850人) ・町民ブルー一般開放(中止) 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に利用できるよう、体育施設を適正に管理する必要がある。 	R元 決算	8,844
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の適正な管理のため、点検・整備を定期的実施する。 <p>※予算・決算はスポーツ環境整備事業費を計上しています。</p>	R2 決算	3,490
			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止となった。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止となった。 ・県道鎌ヶ谷本笠線バイパスが令和4年度中の開通に伴い、県道成田安食バイパスの交通量が増加するため、成田警察よりコースを変更するよう指導があったことから、コースを変更する必要がある。 ・町内外から多くの参加者がエントリーされるため、交流人口を増やし町の移住定住を図る。 ・参加者数を増加させるため、コースや運営体制の改善に努め、町の魅力を全面的にPRし町の活性化につなげていく必要がある。 <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースや運営体制の改善に努め、ポスターやチラシ等の多くの情報媒体を利用して町の魅力をPRしていく。 <p>※予算・決算は、さかえりバーサイドマラソン実施事業運営費(参加費など)のため一般財源はありません。</p>	R3 決算	0
⑤	リバーサイドマラソン実施事業	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかえりバーサイドマラソン ハーフ・10km・5km・2km・親子・ウォーキング 申込者数 令和4年2月中止 令和3年2月中止 令和2年2月実施 (3,255人)(参加者数2,386人) (実行委員会決算: 11,449千円) 平成31年2月実施 (3,672人)(参加者数3,278人) (実行委員会決算: 12,172千円) 平成30年2月実施 (3,216人)(参加者数2,732人) (実行委員会決算: 9,695千円) 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースや運営体制の改善に努め、ポスターやチラシ等の多くの情報媒体を利用して町の魅力をPRしていく。 <p>※予算・決算は、さかえりバーサイドマラソン実施事業運営費(参加費など)のため一般財源はありません。</p>	R2 決算	0
			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	R2 決算	10,670
⑥	房総のむらテニスコート整備事業	<p>○安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	R2 決算	10,670
			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。 	R元 決算	0
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	R2 決算	10,670
合計			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。 	R元 決算	13,360
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	R2 決算	18,337
			<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。 	R3 決算	9,626
			<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に点検・管理を実施 	R3 決算	9,231

学識経験者の意見（基本方針（Ⅲ）について）

【施策名：生涯学習機会の充実】

・この成果指標実績というところで、参加者数を対象にしているのですが、この辺が評価の対象としてどうなのかなと思ったんですけども、第5次総合計画に沿って対象を決めているということなので、残念な結果ではありますけども、やむを得ないかなというふうに思います。

ただ、いろいろなところの生涯学習事業の参加者数ですとか、ふれあいプラザ利用の学習サークル数ですとか、町民を対象にした形での使用人数になっていますので、結果はこういうことになりましたけど、生涯学習課の各事業の方はいろいろ計画があつて順調にこなしていただけていると思いますので、結果はこうですけども頑張りはよくわかります。理解できる場所ではあります。

・施設の関係で、役場の方もそうですけども、トイレに行った時に自動で感知して照明を付けたり消したりする形に変えていただきまして、コロナの感染の拡大防止の観点から、その辺は非常に有効であつたかなと思います。

町が被災した時に社会福祉協議会としては町の要請を受けまして、災害ボランティアセンターというのを立ち上げることになるんですけども、その場所なんですけども、恐らくふれあいプラザさかえの方で、という話になると思うんです。まだその中でどの部分をどのように使うかというのは、はっきり決まっていらないんですが、その辺をこれからつめていかなければならないかな、という気がします。災害の規模によって、それが数日から場合によっては数年になることも考えられますので。特に千葉県はこの30年以内に震度6以上の大きな地震に襲われる可能性が85パーセント以上ということですので、それがいつおきるかわからない。そういう状況の中である程度それをきちんと決めておかなければならないと思いますので、ご協力をいただけたらありがたいです。

・ふれあい推進委員がどこの学校の方も高齢化が進み過ぎて若い人がいないので、若い人がなんとか入って欲しいと思っています。教育委員会の方にも協力していただかないと人集めはなかなか難しいので、いろんなところでアピールしていただいて、ふれあい推進委員だけでなく他のボランティア地域協働ボランティアだとか、いろんなボランティアの方たちに参加していただきたいなと思っています。

今は地域のふれあい推進委員同士の交流などはないですか。私も今、中澤さんとはこうやって会えるのでふれあい推進委員の情報が入ってきたりするんですけど、竜角寺台や安食台の方たちとは会わないので、誰が何をしているかも全くわからない状況です。横のつながりが本当になくなってしまっています。

【施策名：生涯学習施設の充実】

・ふれあいプラザさかえも建築からだいぶ年数が経ってしまっていて、先ほども申し上げたんですけども、ふれあいプラザさかえは避難所として指定されたところでもあるし、そこに避難者が来た場合にですね、人数や日数にもよるんですけども、シャワーしか使えないという。それも数がそれほどないですかね。その人数によってやはり災害時の避難場所として考えると風呂の修理をして、風呂があつた方がいいなという、必要になってくるのかなと思います。大変なのかもしれないですけど、「いつ使うかもわからないので、お金をかけるのも」という話もある

るのかもしれないですけども、こういうのも災害が起きたから修理という訳にもいかないと思いますので、その辺を考えていただけたらありがたいなと思います。

・今栄町ペットを飼っているご家庭が多いじゃないですか。災害の時ペットを連れて避難できるんですか。

【施策名：スポーツ環境づくりの推進】

・コロナの影響によって人の集中を止めなければならない状況が続いてきた訳ですけども、評価指標がやむを得ないなというところでもあります。中ではリバーサイドマラソンを2年ほどやってこなかったということで、その開催するためのいろいろなノウハウを長い間やらないとなくなってしまうので、今年度やるということが、非常によかったなと。スポーツの普及に非常に力を入れていただいていると思いますけれども、健康と運動は非常に密接な関係にありますので、運動人口を増やすことは町として健康な町民が増えることになって、医療費の削減にもつながるな、というところでもありますけれども、健康は本人にとって一番よいことですので、これをさらに続けていただきたいなと思います。スポーツは勝負を伴うものでして、オリンピックのアスリートが町に来て指導してくれるということは、非常に子供たちもスポーツに対する意欲が高まってきて、大変効果があるかなというふうに感じています。その中で、チャンピオンシップを目指す一方で、やはりスポーツがあまり得意でない方もいますので、ドイツでは前に提唱されました第2のスポーツという、楽しむためのスポーツという、この辺の普及に力を入れていただけたら、よりスポーツ人口が広まるのかなと思います。その辺で違う方面にも力を入れていただきたいと思います。

・生涯学習課の方でこれまでニュースポーツとか軽スポーツのいろんな道具があると思うので、もしそれらを貸し出しとか、スポーツ推進委員の方の指導とかが支援学校の方でもできたらと思っていますので、よろしく願いいたします。

・栄町では、体の不自由な方とかそういう方の指導はスポーツ推進委員の方はやられていないと思うんですけど、白井市ではそういう方も対象にやっているようなんですね。ですからそういう指導の方法とかを考えれば、十分対応できるのかなと思いますので、よろしく願いします。

・去年やった健康ウォーキング教室が今年はないのはなんでだろうと思いました。令和2年度にあったみたいで、健康ウォーキング教室50名参加であったのが、今年はないのでコロナでなくなったのかなと思いながらそれが気になりました。あと、新しくピククルボールを選ばれたのかなと思ったのが、ボッチャだと8人1チームでやると思うのですが、ピククルボールだとダブルスだって4人で広くコートでやると、結構広い場所で少ない人数でやるとそんなに参加者が集まらなくて、スポーツの人数を増やすのにどうなんだろうと思いながら、ちょっと不思議な感覚で、なぜこのピククルボールなんだろうなと思いながら拝見させていただきました。

学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

生涯学習課より

【施策名：生涯学習機会の充実】

・避難所としてふれあいプラザさかえの方はどうしても対応が求められますので、その辺は安全対策推進室の方と今後も協議していくなかで、こういった形で利用か、というのはお示しできるのかなと思います。あと、最初の学習機会の充実の中での目標値につきましては、今、後期基本計画の策定を町の方で進めていまして、令和5年度からの計画になりますが、その中では単純に参加者数ではなくて、あくまでもできた中での満足度の方に変えたりとか、そういった形に多少変更できるかな、というところで直しているところではございます。

・年に一回なんですけど、各地区のふれあい推進委員が集まって、それぞれの実績を話したり、情報交換していたんですけど、コロナになってから2年くらいやっていないのかな、今後それは進めたいなと思っています。

【施策名：生涯学習施設の充実】

・風呂の機能につきましては、町の中では、一旦保健所の許可を取らなければいけないものから、保健所の許可は平成17年に中止した時に、保健所の方にやりません、という形で出してしまったので、再度やるためにはまた申請するような形になるんですけども、風呂釜を含めた浴槽ということになると、かなりの費用及びそれを維持管理するのもかなりかかるのかなというところで、今の計画の中ではないですけども、ただ、ふれあいプラザさかえは避難所という機能が必要となりますので、災害があった時に電気が来なかったりとかした時にどうやって確保するかを含めて、太陽光なり、単純に化石燃料だけじゃないものを使っての発電設備については、今年度なんですけども、計画を作る形で予算を取れましたので、ふれあいプラザさかえは今後避難所も含めた形で、どうやって運営していくか。また運営するためにはどういう発電設備が必要なのかも考えた中で計画を立てるような形になります。計画を立てたあとに今度実際にどういったものを作るかっていうことで、また実施設計して工事という形で、単純に来年できますよ、再来年できますよということではないんですけども、その辺は考えていくということでご理解いただければと思います。

・その場所にもよるんですけども、今のところ、一緒の建物ではないけど、建物の敷地で一部犬とかをつないでおく場所を確保するみたいな形は考えているということです。安全対策推進室の方が中心にはなりますけども、そういったことはもちろん考えてはいます。

【施策名：スポーツ環境づくりの推進】

・スポーツが得意ではないということに関しては、今年度、福祉・子ども課と生涯学習課共同で、ポッチャ大会を今月の30日に特別支援学校の先生にもご協力いただきながら、特別支援学校の方で今回開催させていただきます。今後軽スポーツの方でもポッチャをやったりとか、ニュースポーツで高齢者の方もできるようなスポーツは今後も実施していきたいと考えています。

・ご相談いただければ道具のある物は貸し出ししますし、スポーツ推進委員で指導できるものについては、スポーツ推進委員の方に話をし一緒にやれるような形ができればと思います。

・ピククルボールについては、高齢の方もできるスポーツの中で、ちょっと変わったボールとラケットを使うスポーツで、以前室内のショートテニスとかもやっていたんですけども、それよりもボールが変わった動きをするので、単純に肩が強いだけでなく、いろんな方が楽しめるということです。

基本方針 (IV) 地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図ります。
地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図り、個性豊かで潤いのある地域文化の醸成を推進します。

【施 策 名】

- ・芸術文化活動の支援 P 3 3
- ・文化財等の保護と活用 P 3 5

- 学識経験者の意見 P 3 7
- 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について P 3 8



施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名	芸術文化活動の支援						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 既存サークルの高齢化等が進んでいる。 各サークル等、文化芸術団体がより活発に活動できるよう、活動の啓発や成果発表の支援が必要である。 社会環境の変化により、余暇時間を利用した個人の趣味や学習活動が増加し、ふれあいプラザさかえに来れば、いつでも文化芸術の情報が入手でき、また多くの文化芸術にふれられる機会が望まれている。 新型コロナウイルス感染症予防への対応が求められている。 						
施策の情報整理	目指す成果	芸術文化活動を活性化するために町民の方々に文化芸術にふれる機会が提供されているとともに、活動者に活動の成果を発表する機会が提供されている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		芸術文化の公演数	14公演	目標値 15公演 実績値 6公演	目標値 16公演 実績値 0公演	目標値 16公演 —	文化ホール利用の音楽、演劇、舞踊、映画などの公演数
			文化祭参加団体数	49団体	目標値 52団体 実績値 0団体	目標値 53団体 実績値 0団体	目標値 54団体 —
		施策全体の達成度 (★★★★)		—	目標を達成(100%) ★★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化公演数については、文化ホールが新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため、利用を休止したことにより公演数については目標を達成できなかった。また、3月に予定していた文化祭についても同様の理由により中止した。 新型コロナウイルス感染症の影響による各事務事業の制限が多く、成果指標と実績値が機能しないことから「現時点では判定できない」と判断した。 					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	文化ホールが新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため公演等は実施できなかったが、接種会場と調整し月に成人式を実施することができた。					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	各サークル等、文化芸術団体の会員の高齢化や個人の趣味や学習活動が多岐にわたり、団体会員の確保や活動の維持が課題となっている。						
住民との協働や他課の事業との連携	ふれあいプラザ利用サークル連絡会、環境協働課						

2. 事務事業の取組		(単位:千円)			
事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)		事業費	
① 自主文化事業実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ○自主文化事業 ・ホールピアノ一般開放:春(中止) ・ホールピアノ一般開放:秋(中止) ・スプリングフェスタ(中止) ・クリスマスジャズコンサート(中止) 	【取組への課題】		R元 決算	9
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大対策として、新たな生活様式に則った利用形態に移行し、衛生面における利用者の安全性の確保が課題となる。 ・町民がどのような文化芸術に興味があるのか、自主文化事業実施の際にアンケートを行う予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止により実施することができなかった。 		R2 決算	9
		【課題を踏まえ今後の対応】		R3 予算	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種会場となっているため、日程調整を行ってコンサート等を開催していくとともに、アンケート等を行いニーズの把握に努めていく。 ・効果的なPRを行い自主文化事業を知っていただき、来館に結び付ける。 ・文化芸術振興事業として、ふれあいプラザさかえ事業基金を活用し、企画・実施していく。 		R3 決算	8
② 芸術文化公演鑑賞の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○貸館事業 文化ホールはコロナウイルスワクチン接種会場のため利用不可とした。 	【取組への課題】		R元 決算	0
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大対策として、新たな生活様式に則った利用形態に移行し、衛生面における利用者の安全性の確保が課題となる。 		R2 決算	0
		【課題を踏まえ今後の対応】		R3 予算	0
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用されるため、貸館として文化ホールは利用できなくなるが、接種完了後、再開に向けた準備及び利用に関する広報活動を実施する。 		R3 決算	0

③ 芸術文化団体活動の支援	○サークル団体等の日頃の活動成果を発表する機会として「ふれあい文化祭」は、新型コロナウイルスのワクチン接種会場として使用したため中止とした。 ○1階展示ロビーにおいて、展示ケースやミニギャラリーによるサークルの案内、作品展示を随時展開している。	【取組への課題】 ・各サークルの会員の高齢化や会員の確保に苦慮している。	R元 決算	0
			R2 決算	0
			R3 予算	0
			R3 決算	0
合 計			R元 決算	9
			R2 決算	9
			R3 予算	8
			R3 決算	8

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		文化財等の保護と活用					
現状と課題		・本町の貴重な文化財を保存し未来へ継承するとともに、この活用を図っていく必要がある。そのため、文化財等の展示・公開事業、町史編さん事業および文化財サポーター育成の推進が求められている。					
施策の情報整理	目指す成果	・文化財等の保護と活用が図られるよう、多くの参加者による文化財等の展示・公開が行われているとともに、文化財等を説明できる人材が育成されている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		指定文化財公開事業の参加者数	500人	目標値 750人 実績値 438人	目標値 850人 実績値 1,380人	目標値 1,000人 —	龍角寺古墳群、岩屋古墳など文化財のガイド受講人数
		文化財サポーター数	11人	目標値 16人 実績値 16人	目標値 18人 実績値 18人	目標値 20人 —	町の文化財を説明できるボランティアの数
	施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		563 千円 349 千円	
	達成度の理由	・指定文化財公開事業の参加者数は、目標値を大幅に達成した。 ・文化財サポーター数は、目標値を達成した。 以上のことから施策全体の達成度は「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	・展示・公開事業について、1「長門川橋梁」写真ミニ展示(5月15日～30日)、2「発掘された岩屋古墳」(1月18日)、3「龍角寺出土土俵展示会」(1月20日～27日)は、町の文化財の普及に大変貢献した。また、岩屋古墳のPR動画の配信も文化財の普及に貢献した。					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	・国史跡「龍角寺古墳群・岩屋古墳」に係る「保存活用計画」の策定ができていないため、戦略的な活用ができていない。 ・岩屋古墳・浅間山古墳エリアに係る環境整備面積の増大による除草作業が課題となっている。 ・龍角寺の文化財は、東日本大震災時に様々な面で損傷し、そのままになっているものが多い。(国重文「薬師如来坐像」保管施設の奉安殿の老朽化(S25築)、国史跡「塔趾」の石垣の倒壊、町指定文化財候補の「厨子」の損傷。) ・栄町史刊行計画の凍結状況の長期化による弊害が顕著となっていることから、発刊準備の進んでいる部分の刊行を早期に実施する必要があると生じている。						
住民との協働や他課の事業との連携	・栄町文化財サポーター、のらりくら里健康ウォーキングの会などと公開事業の協働を推進し、産業課との観光計画との整合連携を図る。						

2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和3年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 文化財等展示・公開事業	<ul style="list-style-type: none"> ○栄町文化財サポーターガイド ・文化財公開事業関係 合計 1,380人 国指定文化財公開事業(11/3公開) 626人 <ul style="list-style-type: none"> :岩屋古墳 387人・龍角寺 152人・浅間山古墳 87人 さくらまつり協賛(3/27公開) 353人 :岩屋古墳 217人・龍角寺 136人 ・他団体事業関係 283人 のらりくら里健康ウォーキング: 龍角寺 25人 青少年相談員事業: 飯島神社 68人 ユセフアブウォーク 龍角寺 83人・岩屋古墳 96人 モニターツアー 岩屋古墳 11人 ・校外学習関係 118人 <ul style="list-style-type: none"> :岩屋古墳・布鐘小 19人・竜角寺台小 14人 :龍角寺・特別支援学校 21人 布鐘小 11人・安食小 39人 竜角寺台小 14人 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財サポーターの文化財ガイドのモチベーション維持が課題である。 ・文化財サポーターの文化財ガイドのモチベーション維持が課題である。 ・龍角寺に関連する関心が高まっていることから整理作業の終了した埋蔵文化財を中心とした展示・公開が必要である。 	R元 決算	569
	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財講演会「龍角寺発掘調査報告」(中止) ○ロビー展示 <ul style="list-style-type: none"> ・「長門川橋梁」写真ミニ展示(5/15～30) ・「発掘された岩屋古墳」(1/18) ○龍角寺出土土俵展示会(1/20～27) 	<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国指定文化財公開事業(岩屋古墳、浅間山古墳、龍角寺)の充実について、特に町内各小学校の校外学習支援を強化する。 ・龍角寺遺跡の調査研究に実績のある早稲田大学と協働し展示・公開を推進する。 ・文化財サポーターの文化財ガイドのモチベーション維持を図り積極的に実践していただくように活動の場の提供など支援する。 	R2 決算	234
			R3 予算	245
			R3 決算	144

② 町史編さん事業	<p>○町史編さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町史関係の成果の公表(広報10回掲載)事業の関心を高めることができた。 ・歴史講座「龍角寺縁起をひもとく2」の開催(2回) <p>○記録史料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史公文書の整理保存作業(40%:222/554箱) <p>・地域史料の整理保存作業(ふすま下張り文書・請方・芳澤家文書、脇川・鈴木家文書 収集資料:西・大熊家文書)文化財サポーター(年間43回、延べ156人)との協働作業で終了させることができた。</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん ・広報誌への掲載について、スペースが限られていることから原稿量の調整が難しい。 ・記録史料の保存・公開 <p>1. 歴史公文書の整理保存作業は、専門職員の人的、時間的確保に苦慮している。</p> <p>2. 地域史料の整理保存作業は、文化財サポーターの人的減少が生じている。</p>	R元 決算	84	
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん ・広報誌への掲載について、時宜を得たテーマや歴史講座参加者、文化財サポーター登録者などから興味のあるテーマを聞き取り、記事に反映させる。 ・記録史料の保存・公開 <p>1. 歴史公文書の整理保存作業日を固定化して作業時間を確保し、公文書管理法に基づく例規等の整備を進め、歴史公文書のライフサイクルを確立させる。</p> <p>2. 地域史料の整理保存作業は、栄町古文書学習会への支援を強化し協力を得て、文化財サポーターを確保し作業の継続を図る。</p>	R2 決算	85	
		<p>○幹事会、全体会の開催</p> <p>○研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド実習関係 ・岩屋古墳・龍角寺ガイド11回、 ・講演会・講座・展覧会関係 ・白井市文化財講演会(白井市郷土資料館)1回 ・自主研修会関係 12回 <p>○国史跡環境整備活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間14回 延べ60人 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財ガイドの対応について、文化財サポーターへ研修の充実とガイドマニュアルの必要性が生じている。 ・浅間山古墳本体の環境整備作業を実施することが課題となっている。 	R元 決算	135
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・房総のむら、栄町観光協会、コスプレの館との連携を進めることで文化財ガイド活動の連携を図りたい。 ・浅間山古墳の重要性を普及させることで、地元自治会や文化財サポーターなどの理解を得て環境整備作業の進捗を図りたい。 ・文化財ガイドの対応について、文化財サポーターへ研修の充実とガイドマニュアルの整備を図る。 	R2 決算	564	
③ 文化財サポーター育成の推進		<p>○国史跡環境整備活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間14回 延べ60人 	R3 予算	186	
		<p>○国史跡環境整備活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間14回 延べ60人 	R3 決算	60	
合計			R元 決算	788	
			R2 決算	883	
			R3 予算	563	
			R3 決算	349	

学識経験者の意見（基本方針（IV）について）

【施策名：芸術文化活動の支援】

・コロナの影響によって事業が実施できなかったということは、とても残念には思います。事業を実施したい団体ですとか、活動したい団体もやはり実施できずにその辺皆さん残念に思っていると思います。文化祭の利用サークル団体、昨年度は1月の末にやるような予定だった。間際まではやるような話で進んでいたのも、みんな多分だいぶ期待をしていたと思うんですが、やはりコロナの影響でやれなくなったということで残念でした。今後コロナの影響が少なくなってくると、活動も次第に拡大していくことになると思いますので、その辺に今後期待をしたいと思います。

・産業まつりとか住民活動ふれあいまつりとかあったので、どんどんコロナの中でもやっていたことをやっていって、普段と同じように戻ってきているのかなと思っているので、来年また文化祭の時期に文化祭が実施されればよいなと思っています。

【施策名：文化財等の保護と活用】

・成果実績のところ、指定文化財の公開事業の参加者数が目標数を大幅に上回って参加者が多かったという。こういう町の歴史とかそういうものに興味がある人がかなりいるんだなということで、思いを新たにしました。

歴史、遺跡を保全していく労力といいますか苦勞、文化財サポーターの方だいぶ頑張っているんですけども、その辺は大変維持していくには大事なことだと思いますけれども、そういう方たちには頭が下がる思いがいたします。歴史遺跡も維持・保全だけではなく広く紹介していくことも、これがとても大事かなと思っています。文化財サポーターの中でも史跡ガイドという役割が、町の史跡をいろいろ内外に紹介していく役目というのが大きいのかなとこの辺を拡大していけたらよいのかなと思います。

・今後も史跡ガイドを、子供たちのために続けていっていただきたいなと思いました。学校の方もやはりドラムの里、房総のむらの方には足を運んでいただいて、毎年聞いていただきたいなと思います。

・新型コロナウイルスが発生して、日本に入ってきて、町の中でも事業が縮小になったり、事業展開が難しい時期がありましたけども、今年度に入りましてだいぶ規制もゆるくなってきて、規制も解けているところで、これからまたその活動がこれまで以上に活性化することを願っております。

学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

生涯学習課より

【施策名：芸術文化活動の支援】

・文化祭については、令和4年度は、3月4日、5日に開催する方向で準備を進めています。今後もサークル等の皆さんの学習成果を発表できる機会を設けていきます。

【施策名：文化財等の保護と活用】

・今後も文化財サポーター、文化財ガイドの育成、活動の場の提供に努めます。また、文化財等の保全、活用を進めます。

5 本町教育行政が取り組む方向について

教育長より

令和4年9月7日、「栄町教育委員会行政組織規則」第6条に基づく「委員協議会」を招集し、本件の調査・研究をいたしました。その中で、令和3年度の事務事業について、成果指標及び実績を担当課長から発表し、委員全員でその事務事業の点検と評価を行ったところです。今回は、5年間の最終年度となる令和4年度の前年度として、どこまで迫れたのかを検証することになります。これらの成果指標は、平成29年度の実状を基に、1年ごとに5年間の逐次目標として示したものであります。当時、令和2年3月からの全国一斉休校から始まる新型コロナウイルス感染予防対策は予想だにもしておらず、令和2年度に引き続く「パンデミック(感染爆発)」という世界的な難題を引き継ぎつつも、徐々に学校体制を撻り戻す、レジリエンスの令和3年度でした。

そのため、成果指標を練り直すわけにもいかず、昨年同様、数値はパンデミック前の平成29年度作成の指標を引き続き使用したところです。その成果指標に具体的な数値を掲げたことが、パンデミック下では評価を困難にしたことも事実で、評価不能とした事務事業もありました。点検・評価については、平成22年度から十数年を経てきましたが、成果指標の立て方も今後の検討材料にと思慮しています。

こうした中、令和3年5月に、文部科学省から「学校図書館の活性化事業」の「再募集通知」が全国の市町村教委に届きました。そこで、安食小学校で令和5年2月に予定されている創立150周年記念事業を支援できるようコラボした研究を申請しました。内容は、学校司書が不在の週当たり3日に、コロナ以前のように、PTA等外部人材に支援してもらい、常に、大人が居る「学校図書館」に戻し、レファレンスを絶え間なく、そして、大人の目があることにより、いじめ等をなくすことにつながるというものでした。その後、申請が受理され、文部科学省の研究指定を受け、学校図書館の活性化のために外部人材の入校を後押しでき、安食小学校の学校図書館をコロナ以前の平成26年秋以降の活性化状態に戻すことにつながりました。

この研究によって、外部人材から学校内にコロナ感染が引き起こされることもなく、無事、文部科学省の指定研究を終えることができました。なお、研究に要する予算を文部科学省から頂戴しました。これについては、令和3年9月補正予算にて町議会の承認をいただいたところです。「創立150周年」を総合的な学習の時間で調べる子供たちのために、地域の古老からの資料作成並びに掲示物等に役立ててくれたと伺っています。予期せぬ事務事業という範疇から、ここに追記しておきます。

最後に、学識経験者お二方から貴重なご提言をいただきましたことに感謝申し上げます。頂戴したご意見を次年度の事務事業へ反映いたしますことを約すとともに、町議会へ報告し、町民に公表いたします。